市営住宅に関するアンケート調査業務

報告書

令和５年２月

1. 業務の目的

令和元年 12 月に策定した「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン 2019」に基づき、適正な受益者負担のあり方を検討する参考資料とするため、市営住宅入居世帯及び市営住宅以外にお住いの世帯に対し、生活状況等に関する意識について調査を行う。

２．調査の実施概要

（１）調査対象者数

ア　市営住宅入居者から無作為抽出した世帯　3,000 人

イ　市営住宅以外にお住まいの方から無作為抽出した世帯　6,000 人

（２）調査方法

郵送による配布、郵送等による回答送付及びウェブによる回答による回収

（３）調査期間

令和 5 年 1 月 13 日～令和 5 年 1 月 21 日

（４）回収結果

郵送 2,892 通　ウェブ回答 316 通　**合計 3,208 通（回収率 35.6%）**

（公営住宅入居者　1,190 通/回収率 39.7%）

（公営住宅以外　　2,005 通/回収率 33.4%）

（無回答者　　13 通）

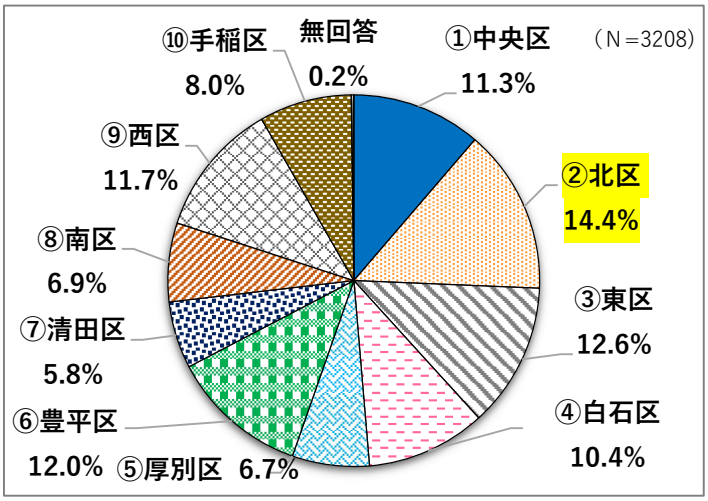
３．　集計結果

１　世帯とお住いについて

（１）　お住いの区について

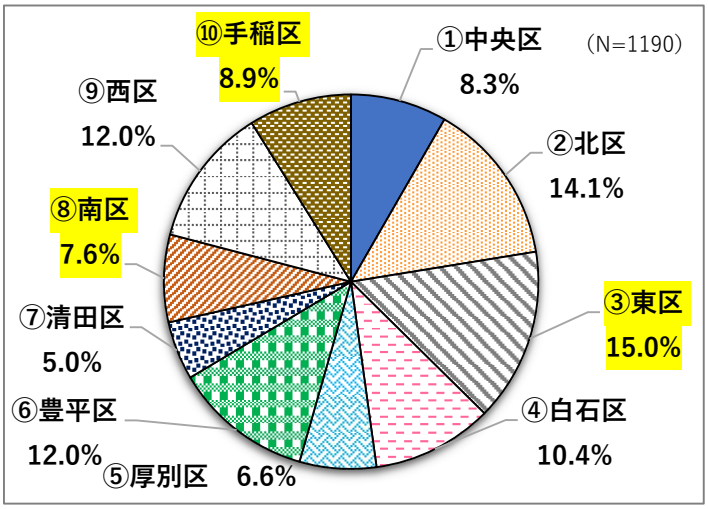
［全体］

「北区」が 14.4%と最も多く、
「東区」の 12.6%、
「豊平区」12.0%、
「西区」が 11.7%となっている。



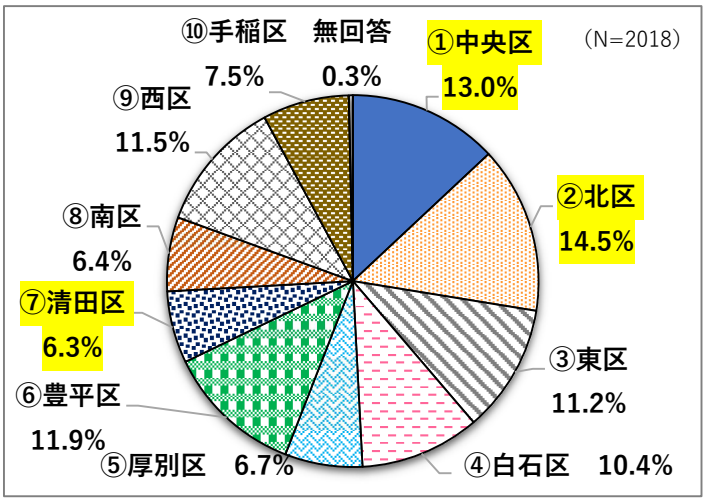
［公営住宅入居者］

公営住宅以外の居住者と比べ、
「東区」が 3.8%、
「南区」が 1.2%、
「手稲区」が 1.4%多い。
逆に、
「中央区」が 4.7%、
「北区」が 0.4%、
「清田区」が 1.3%少ない。



［公営住宅以外の居住者］

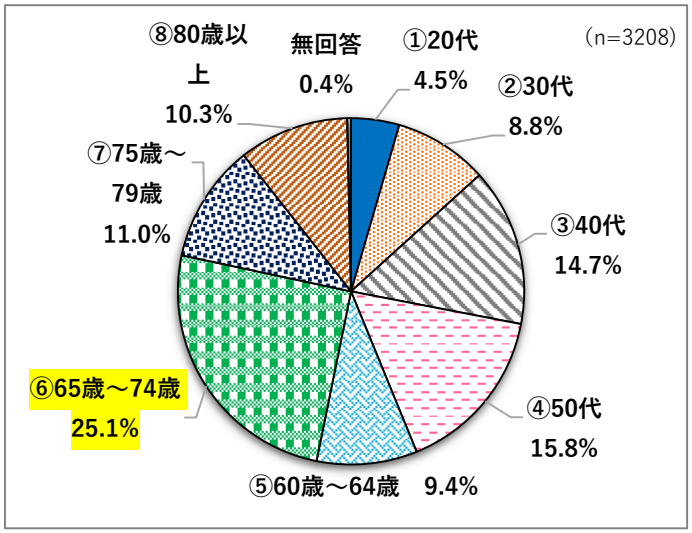
公営住宅入居者と比べ、
「中央区」が 4.7%、
「北区」が 0.4%、
「清田区」が 1.3%多く
逆に
「東区」が 3.8%、
「南区」が 1.2%、
「手稲区」が 1.4%少ない。



（２）年齢について

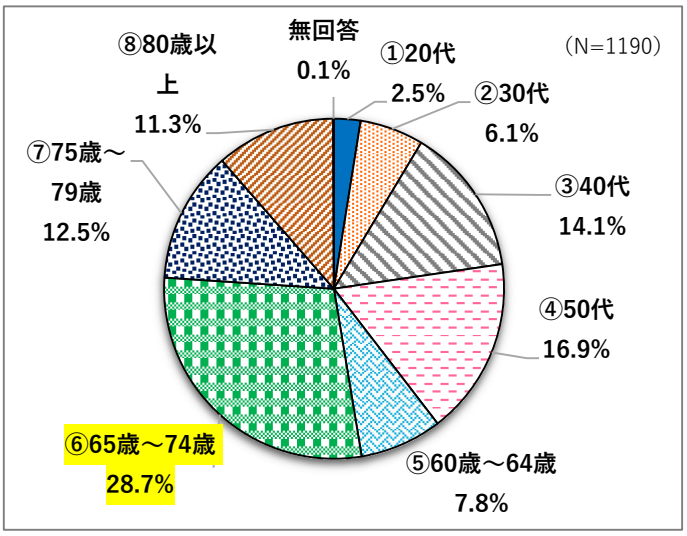
［全体］

「65 歳～74 歳」全体の 25.1%で一番多く、次は「50 代」の 15.8%、「40 代」14.7%となっている。



［公営住宅入居者］

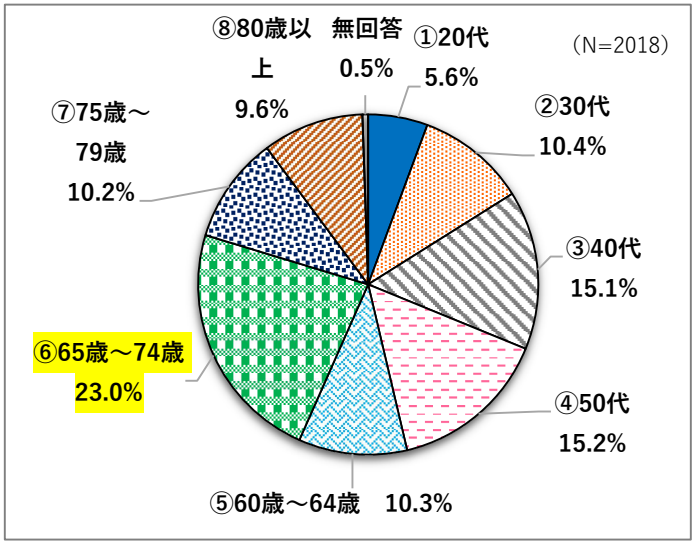
「65 歳～74 歳」全体の 28.7%で一番多く、次は「50 代」の 16.9%、「40 代」14.1%、
65 歳以上が 52.5%の半数以上となっている。



［公営住宅以外の居住者］

「65 歳～74 歳」全体の 23.0%で一番多く、次は「50 代」15.2%、「40 代」15.1%

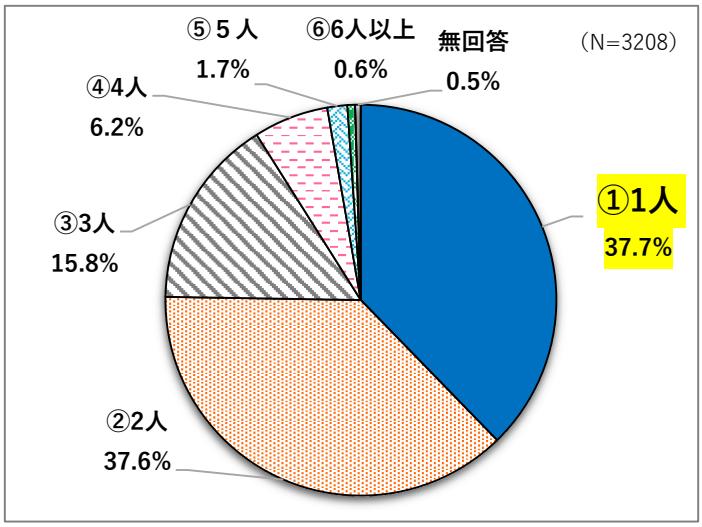
20 代から 40 代までの割合が公営住宅入居者より 8.4%多くなっている。



（３）世帯人数について

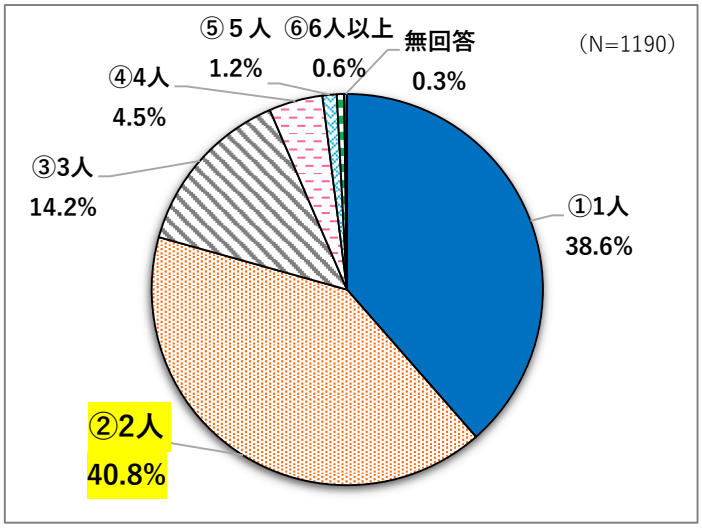
［全体］

世帯数は「1 人」が一番多く 37.7%、次は「2 人」の 37.6%で合わせて 75%以上となっている。



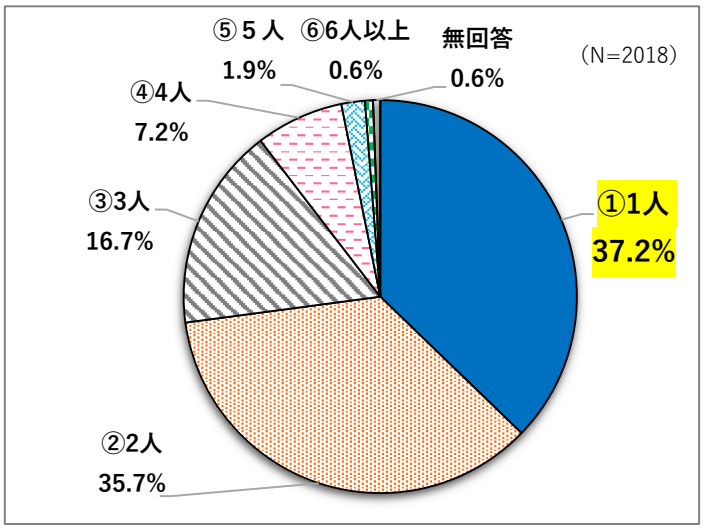
［公営住宅入居者］

世帯数は「2 人」が一番多く 40.8%、次は「1 人」の 38.6%で合わせて 79.4%となっている。



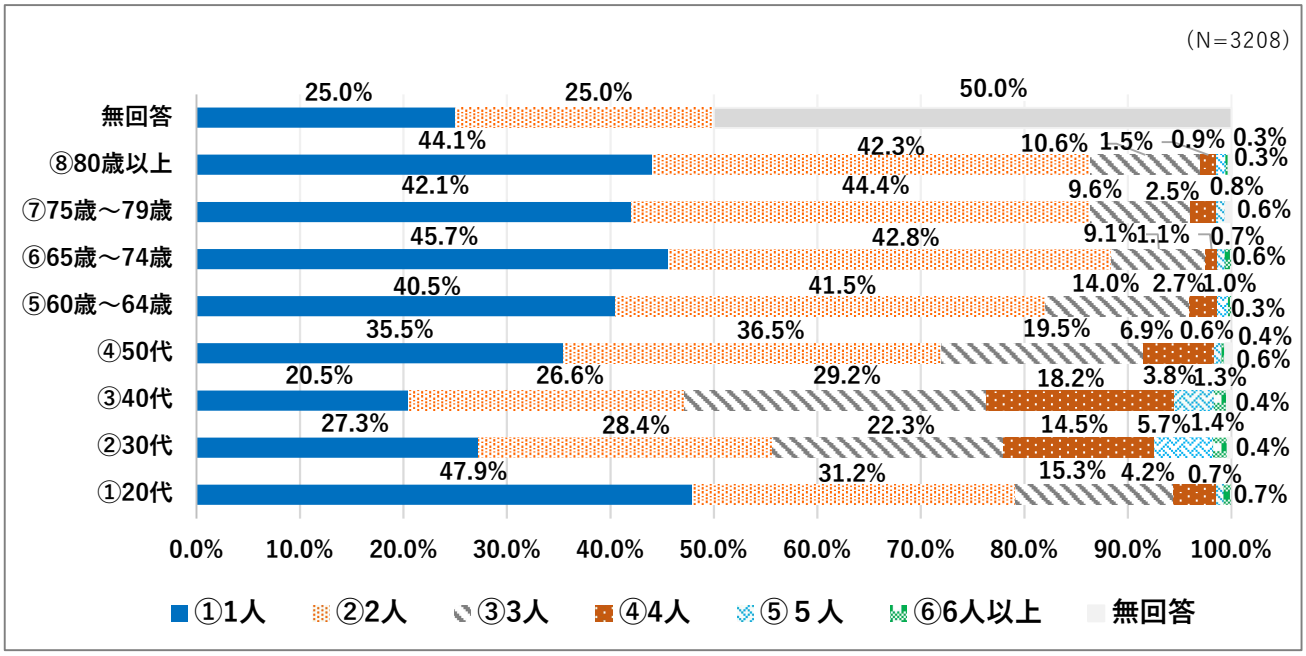
［公営住宅以外の居住者］

世帯数は「1 人」が一番多く 37.2%、次は「2 人」の 35.7%で合わせて 72.9%となっている。



●年齢別世帯数について

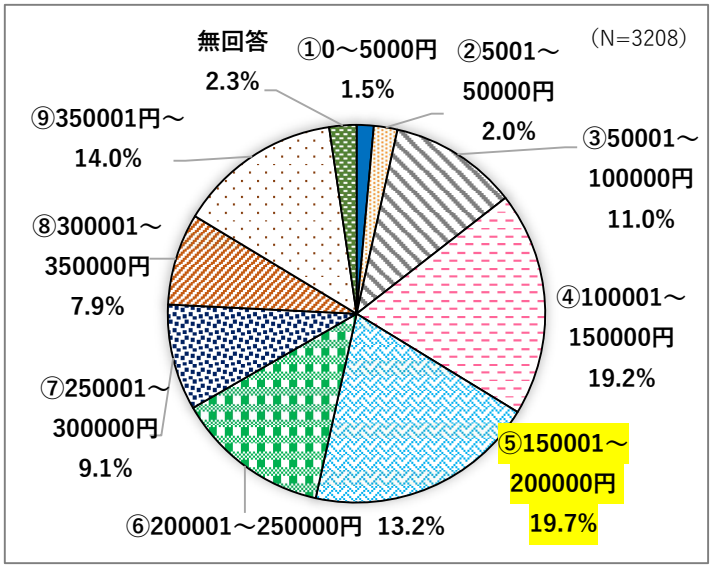
年齢別世帯数は、20 代は「1 人」が多く、30 代、40 代になると「1 人」、「2 人」、「3 人」は同じような割合になってきている。50 代から 60 代以降は次第に「1 人」、「2 人」が増え、同じような割合となっている。



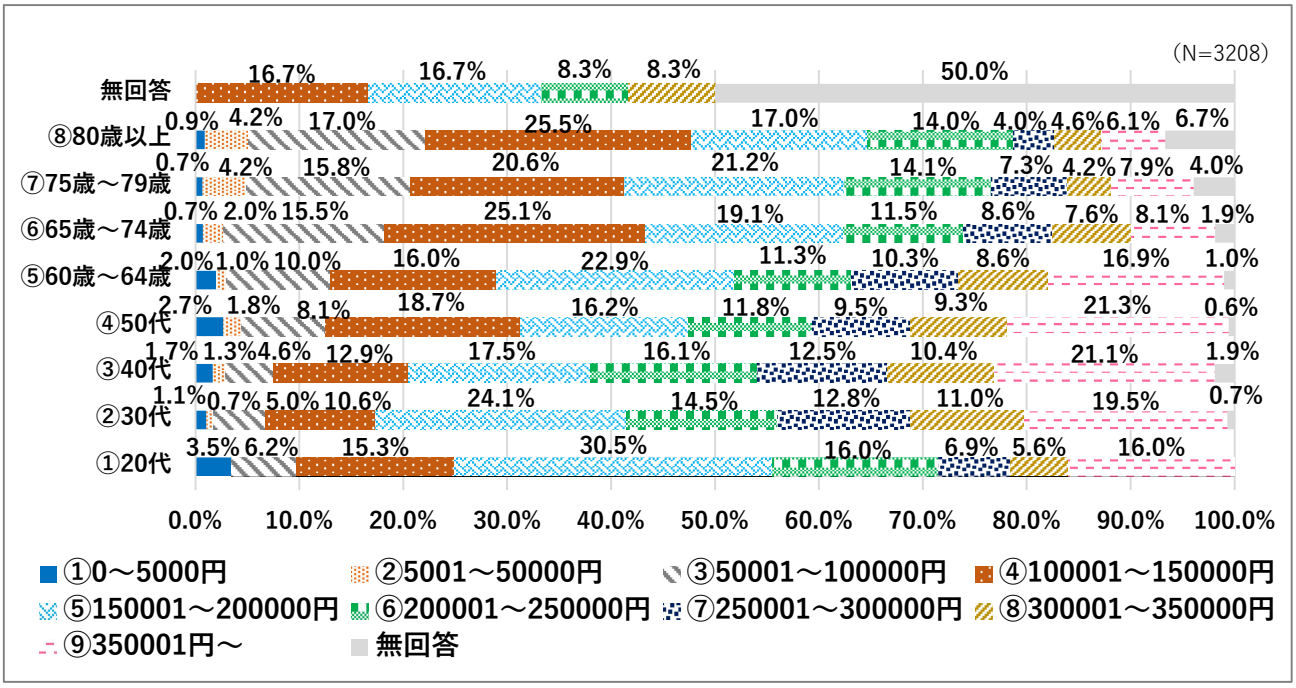
（4）世帯全員の 1 か月の収入について

世帯の 1 か月の収入は「150,001～200,000 円」が 19.7%と一番多く、次に「100,001～150,000 円」の 19.2%となっている。

200,000 円以下が全体の 53.4%である。



●**年齢別 1 か月の世帯収入について** 20 代、30 代、60～64 歳、75 歳～79 歳においては「150,001～200,000 円」が多く、40 代、50 代は「350,001 円以上」が一番多い。65～74 歳、80 歳以上は「100,001～150,000 円」が多い。65 歳以上になると 4 割以上が 15 万円以下となっている。

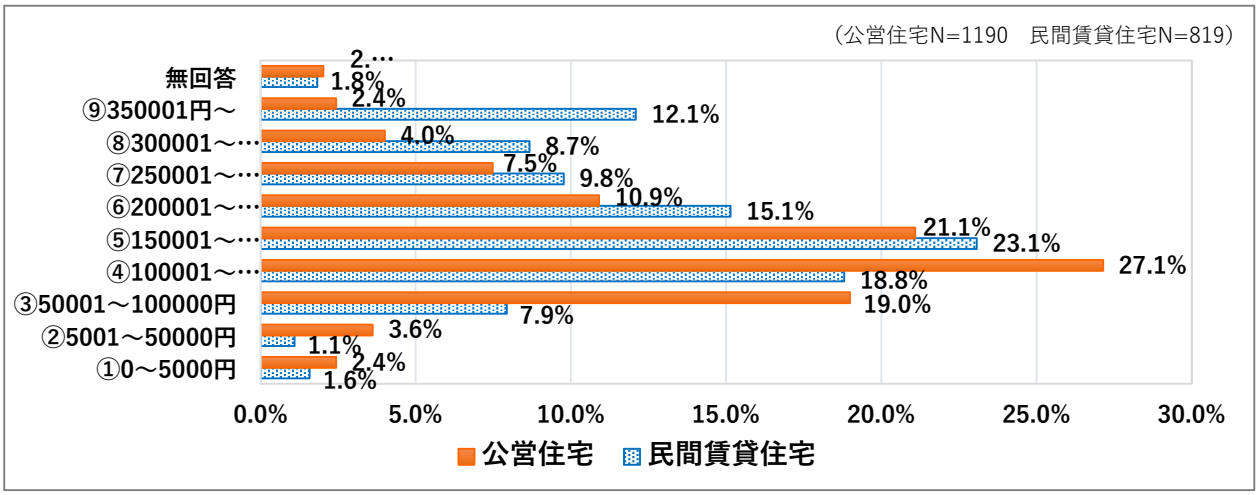


●**公営住宅入居者と民間賃貸住宅居住者の比較**

ア　世帯収入について

15 万円を境に世帯収入が低いのが「公営住宅入居者」で、高いのが「民間賃貸住宅居住者」となっている。「公営住宅入居者は「100,001～150,000 円」が一番多く 27.1%、次に「150,001～200,000 円」が 21.1%である。「民間賃貸住宅居住者」は「150,001～200,000 円」が一番多く 23.1%、次に「100,001～150,000 円」となっている。

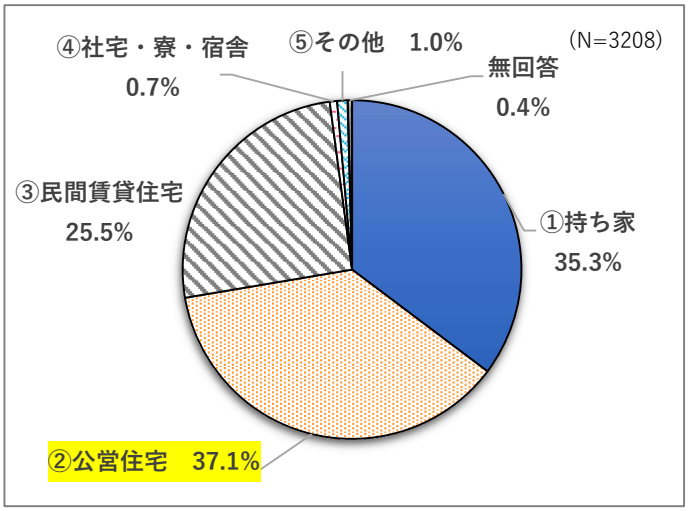
割合の差が多く出ているのは「50,001～100,000 円」で「公営住宅入居者」が多く、また、「350,000 円以上」では「民間賃貸住宅居住者」が多い。また、「民間賃貸住宅居住者」でも「0～5,000 円」「5,001～50,000 円」の方もいる。



（5）住まいについて

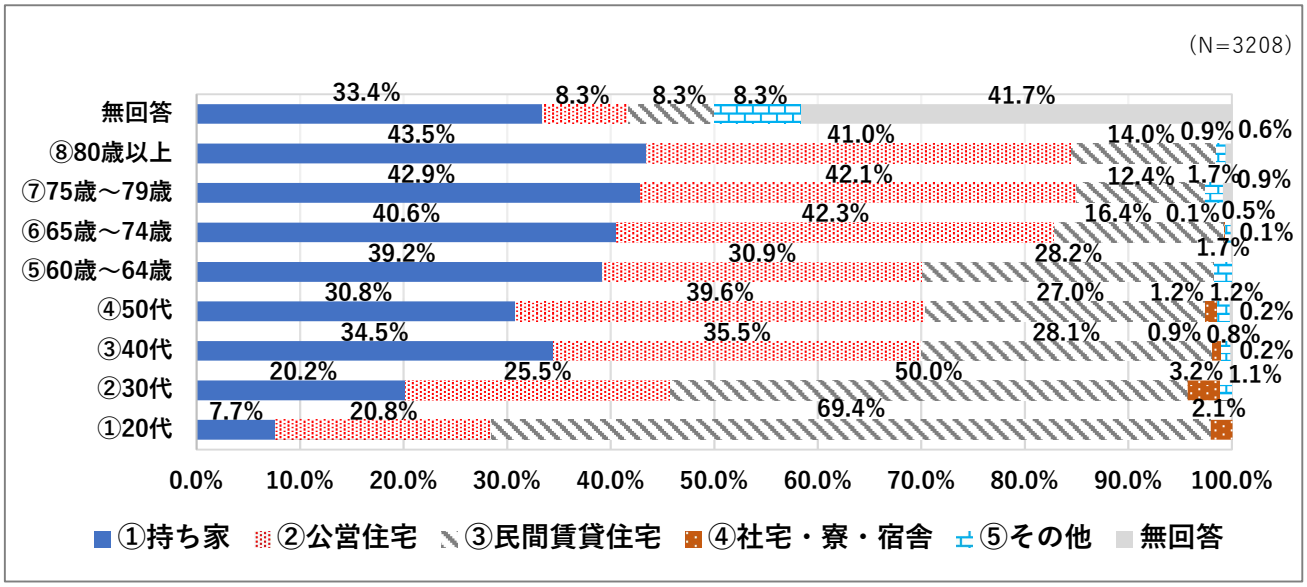
「公営住宅(市営・道営)」が一番多く37.1%、次に「持ち家（一戸建・マンション等)」が35.3%で多い。

「その他」は兄弟の家、両親所有の家（二世帯住宅)、祖母の家、子供の家、娘婿の家、親類の家、実家、共同住宅、供給公社、施設、障害グループホーム、ケアハウス、生活介護施設である。



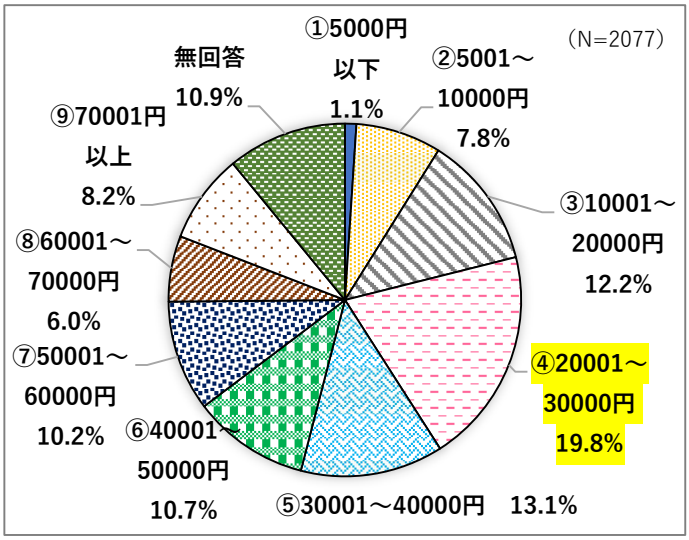
●年齢別お住いのタイプについて

20代、30代は「民間賃貸住宅（一戸建、集合住宅/マンション・アパート等)」が過半数以上で最も多く、次に「公営住宅（市営・道営)」となっている。40代、50代は「公営住宅（市営・道営)」が一番多く、次に「持ち家（一戸建・マンション等)」。60歳から64歳まで「持ち家」率が「公営住宅」率より多いが、65歳以降は「持ち家」率と「公営住宅」率があまり変わらなくなっている。



（6）賃貸住宅等にお住まいの方の毎月の家賃額について

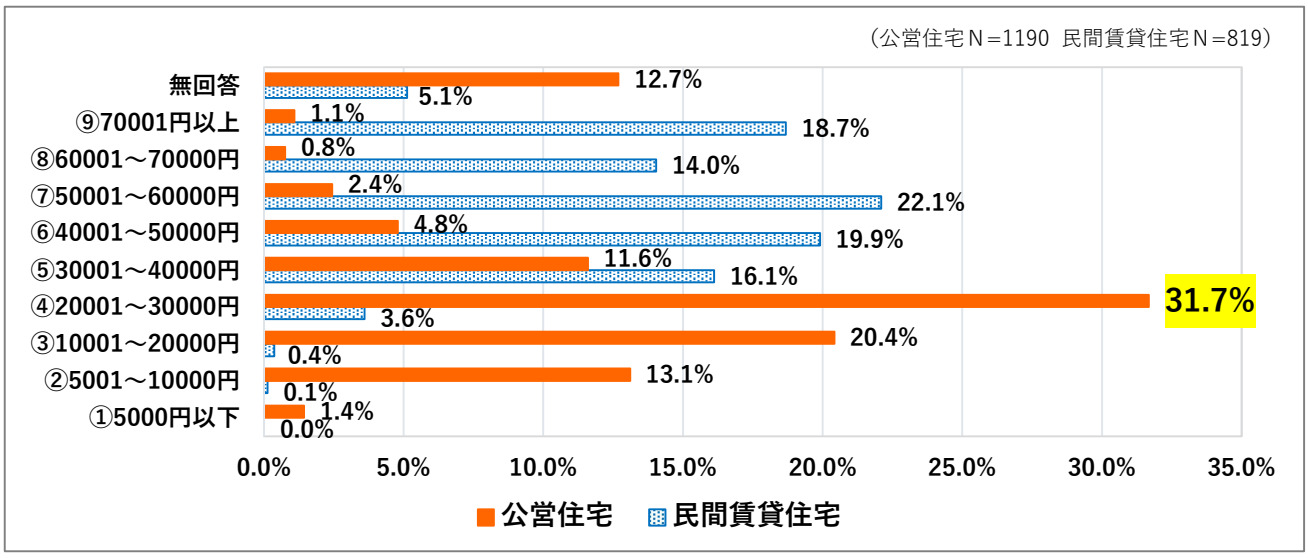
毎月の家賃額は「20,001～30,000 円」が 19.8%と一番多い。



●家賃額について

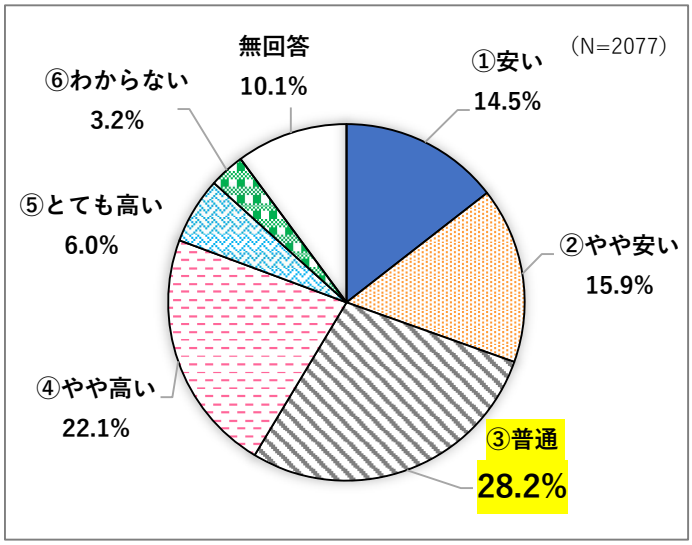
公営住宅の家賃額は「20,001～30,000 円」31.7%で一番多く、「10,001～20,000 円」20.4%、「5,001～10,000 円」13.1%と 3 万円以下が 66.6%となっている。

一方、民間賃貸住宅の家賃額は「50,001～60,000 円」が 22.1%と多く、「40,001～50,000 円」19.9%、「70,000 円以上」18.7%となっている。



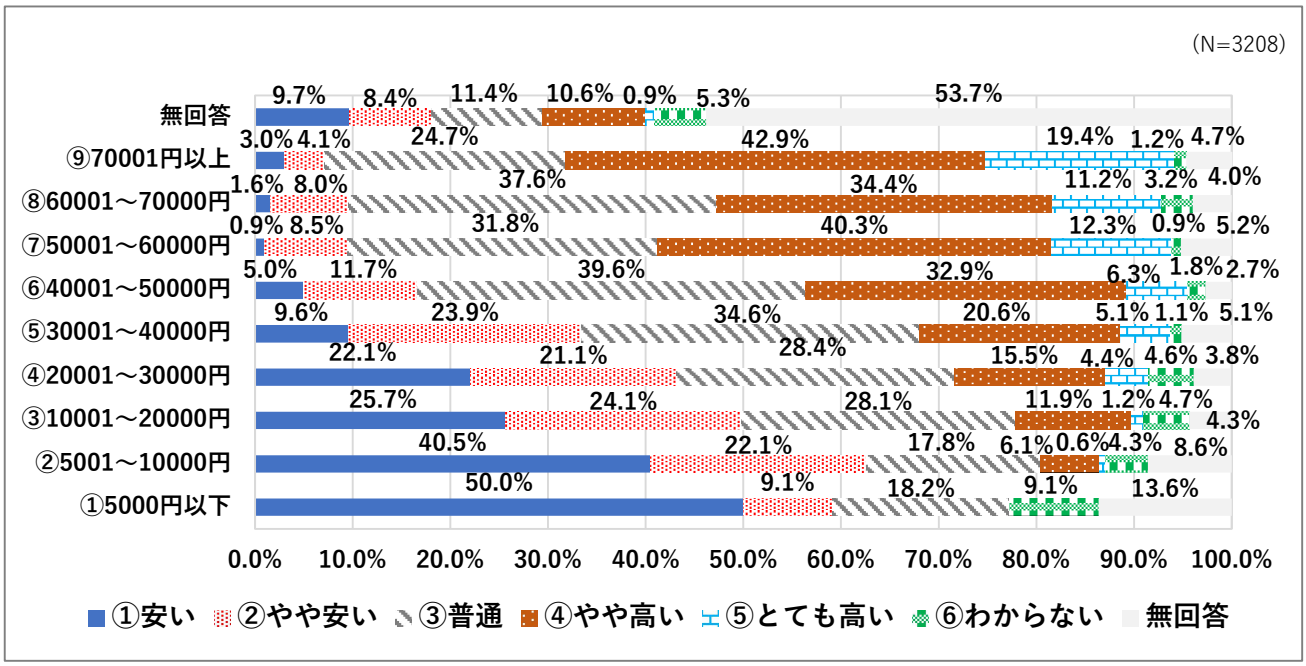
（７）賃貸住宅等にお住まい方の住環境（間取り、立地など）を考え合わせて家賃額についてどのように感じているか。

毎月の家賃額は「普通」が 28.2%で一番多く、次は「やや高い」が 22.1%となっている。



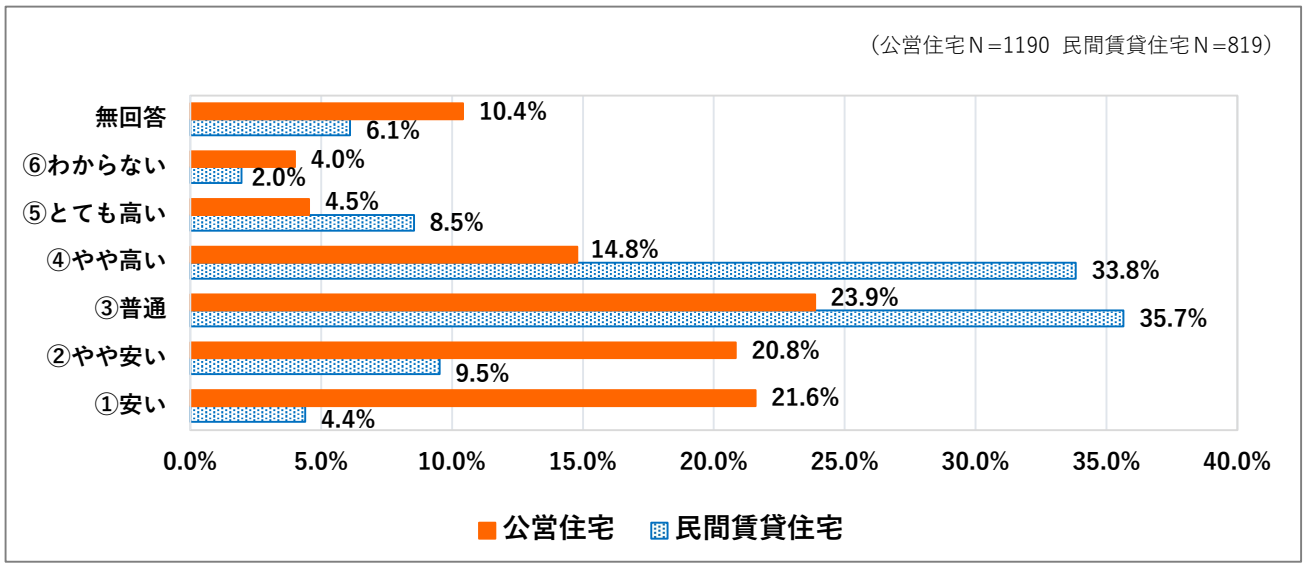
●家賃額をどのように感じていますか。

家賃額は 5,000 円以上を境に「やや高い」と思う方が出てきて、次第にその率が高くなってくる。また、50,001 円を境に家賃額が「やや高い」、「とても高い」と思う方合わせて 50%以上になっている。



●家賃額がどのように感じているかについて

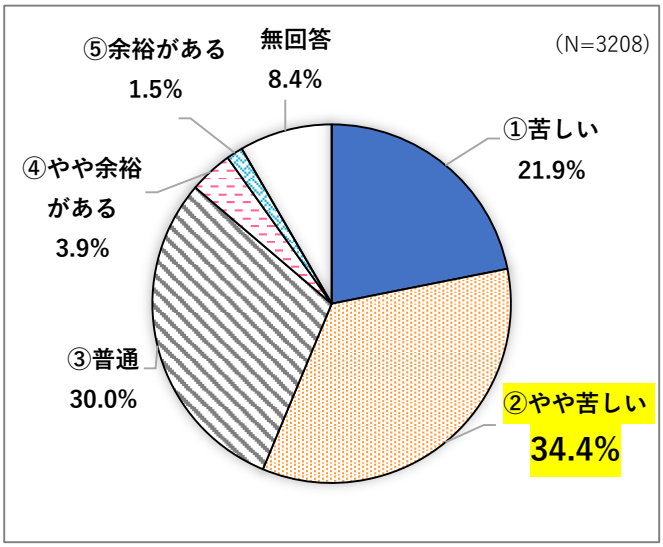
公営住宅入居者で多かったのが「普通」が 23.9%であり、「やや安い」20.8%、「安い」が 21.6%となり、40%以上の人が安いと考えている。民間賃貸住宅居住者は支払っている家賃額に対し「普通」35.7%、「やや高い」33.8%となっている。



（８）現在の生活状況はどのように感じているか。

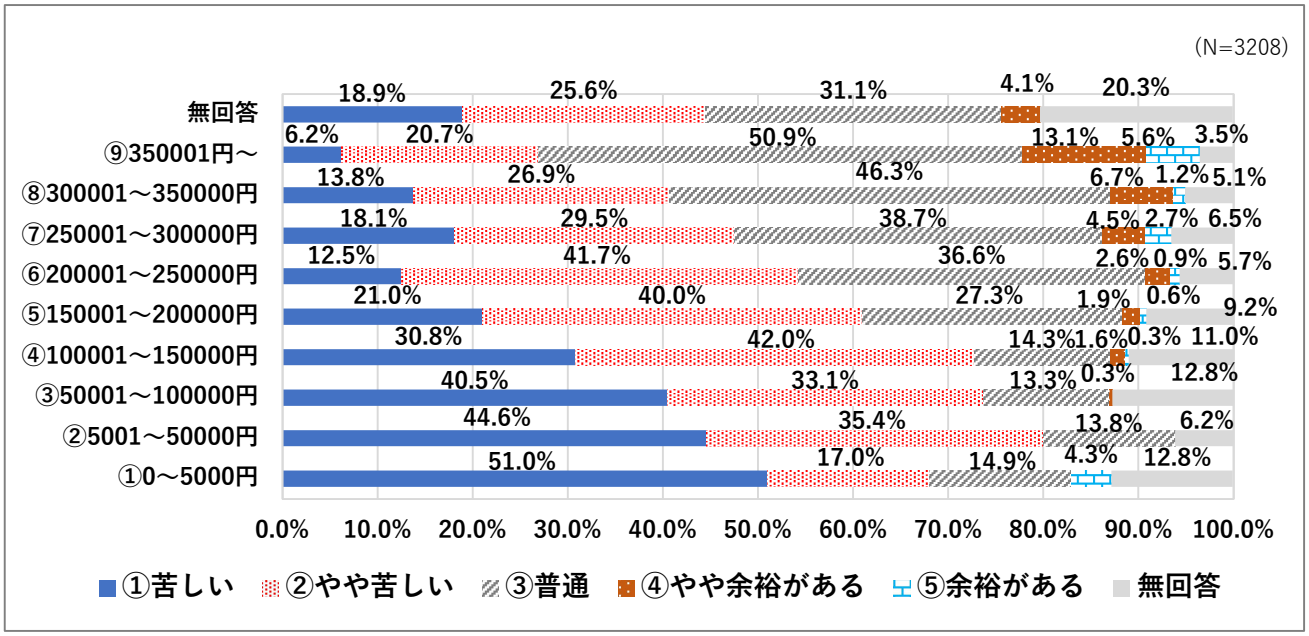
「やや苦しい」が 34.4%と最も多く、次に「普通」が 30.0%となっている。

「苦しい」「やや苦しい」は合わせて 56.3%となり半数以上の人が苦しいと感じている。



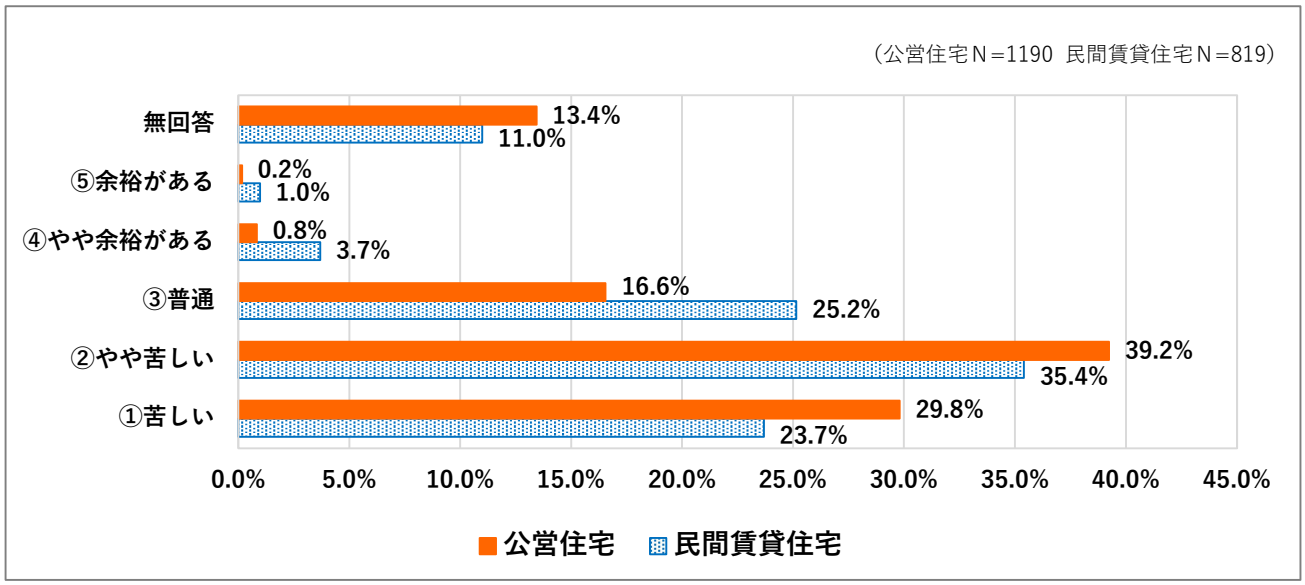
●世帯収入と生活状況について（収入ごと）

「苦しい」「やや苦しい」と回答した世帯は、世帯収入が 250,001 円を超えると全体の 50%を切るが、350,000 円以上でも約 3 割の方は「苦しい」と答えている。300,001 円以上になると「普通」「やや余裕がある」「余裕がある」合わせて 50%以上となった。



●生活状況について（公営住宅入居者と民間賃貸住宅居住者）

生活状況についてはは公営住宅入居者、民間賃貸住宅居住者とも「やや苦しい」が 39.2%、35.4%と一番で、公営住宅入居者は次に「苦しい」が 29.8%、民間賃貸住宅居住者は「普通」が 25.2%となっている。しかし、両者とも「苦しい」「やや苦しい」が半数以上となっており、公営住宅入居者においては約 7 割になる。

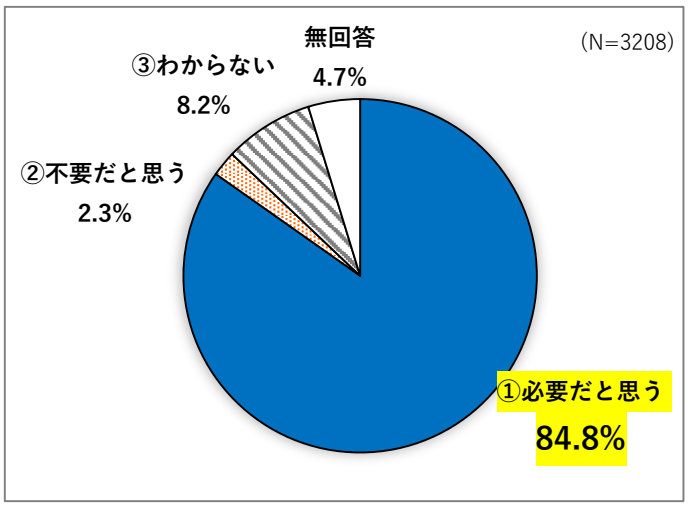


２　市営住宅の家賃について

（１）家賃を一定の期間、減額または免除する家賃減免制度についてどう思いますか。

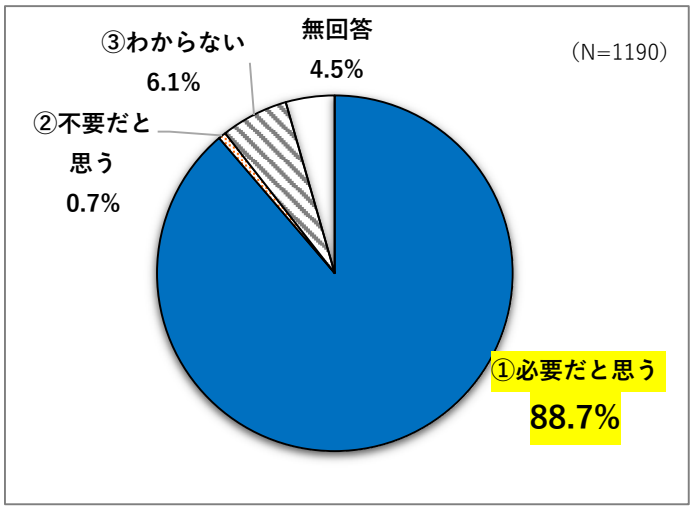
［全体］

84.8%%が「必要だと思う」となっている。



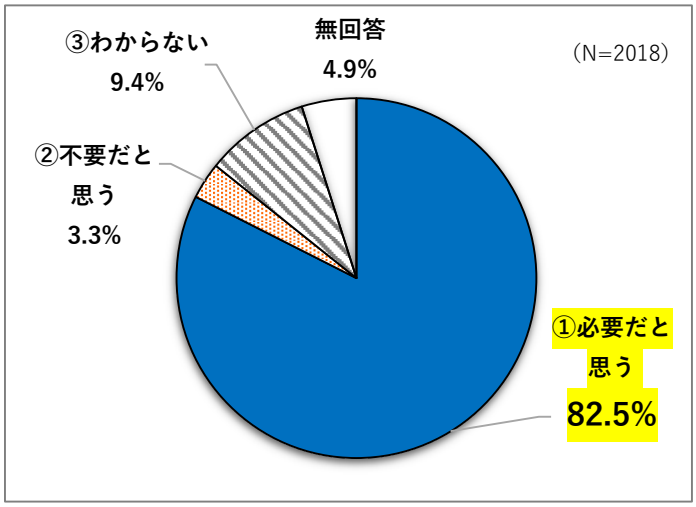
［公営住宅入居者］

「必要だと思う」が 88.7%、「不要だと思う」が 0.7%で公営住宅以外の入居者と比べて「必要だと思う」割合が高い。



［公営住宅以外の居住者］

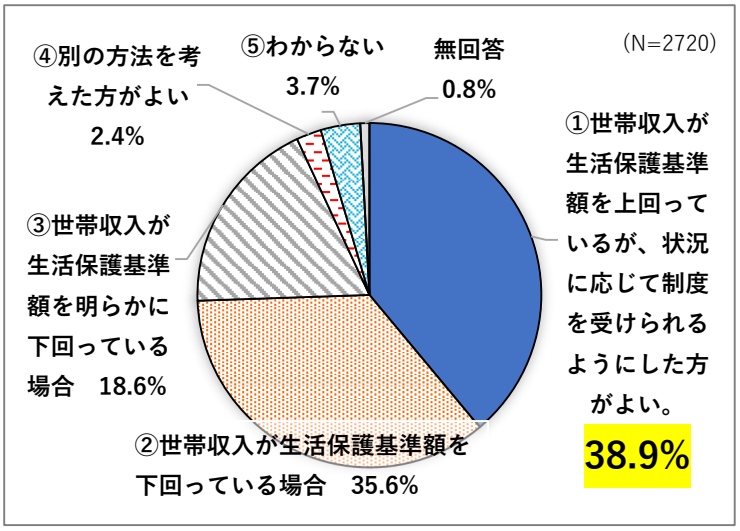
「必要だと思う」が 82.5%、「不要だと思う」が 3.3%で公営住宅入居者と比べて「必要だと思う」割合が 6.2%低い。



（２）「必要だと思う」と選んだ方におたずねします。家賃減免制度についてのイメージはどれですか。

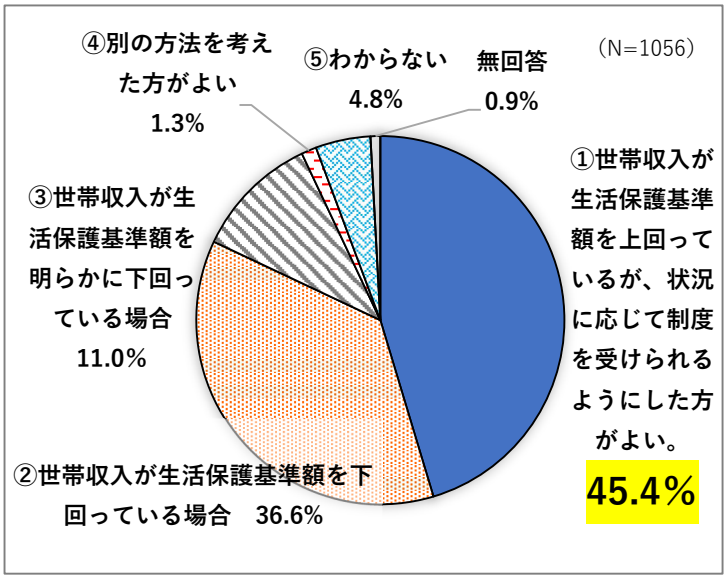
［全体］

最も多かったのが「世帯収入が生活保護水準を上回っているが状況に応じて減額または免除制度が受けられるようにした方がよい」が 38.9%となっている。



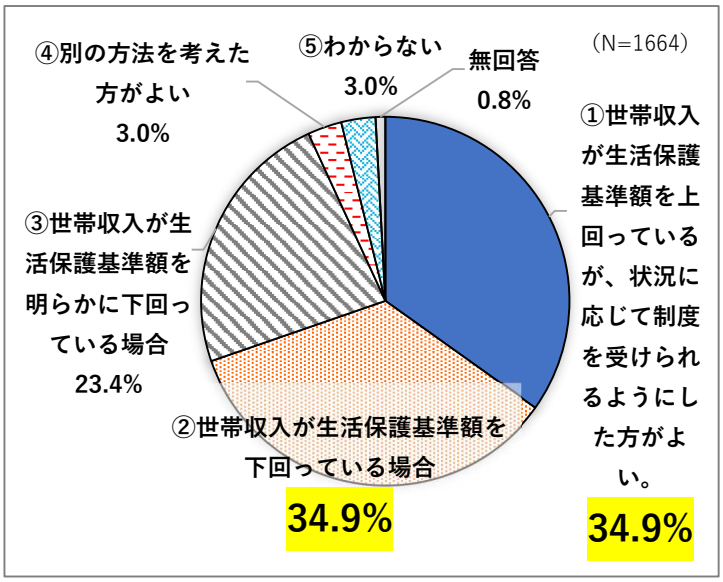
［公営住宅入居者］

最も多かったのが「世帯収入が生活保護水準を上回っているが状況に応じて減額または免除制度が受けられるようにした方がよい」が 45.4%となっている。



［公営住宅以外の居住者］

「世帯収入が生活保護水準を上回っているが状況に応じて減額または免除制度が受けられるようにした方がよい」「世帯収入が生活保護水準を下回っている場合」ともに 34.9%となって公営住宅入居者より割合が低く、「世帯収入が生活保護基準額を明らかに下回っている場合」が公営住宅入居者より 12.4%高い。



（３）「別の方法を考えた方が良い」と答えた方の回答

＜公営住宅入居者＞

・保護費の基準でと決めているようですが、保護を受けている方、収入が低い方などは基準にこだわらず少しでも家賃の金額を下げるべきかと思います。生活が苦しいのは確かですし、価格の高騰で大変そうです。

・細かく数値が決められていますが、年齢によってかかる金額も変わってきます。若いからと言って収入が多いわけではないかと思います。

・現状の月の収入状況で、世帯収入が家賃減免制度の基準額より下回っている、明らかに下回っている場合、物価の高騰で、家賃の支払いが困難な月もあるので、その月ごとの免除等の制度があれば良いと思う。

・収入だけで判断するのではなく、家族構成等子供の人数や年齢、親の面倒を見ているや病人がいる等色々あるのでその辺を考えて欲しい。

・コロナで会社がなくなってバイトで生活していますが、家賃が去年の年収でくるので、支払うのが大変なので、現時点での収入で計算して欲しいです

・市営に関して、生活保護受給者１人暮らしに対してのみ、年収 120 万、毎月 10 万の方には一律家賃を１万円にしてもらいたいと常々考えています。（一般の方）生活困窮者１人暮らしの方も同様に考えています。どうぞご検討お願いします。なぜなら、市営住宅の家賃以外に自治会費毎月 1,200 円、年間 14,400 円の徴収されています。積雪が多い年になると、また除雪排雪代が加わり、増収になります。

・生活保護基準に合わせるのはおかしい。

＜公営住宅以外の居住者＞

・収入だけでなく、資産も考慮する。基準を誰にでもわかりやすい、シンプルなものにする。

・生活保護の基準ではなく、その方の前年度の収入や状況、病気の状態、障害の程度などで決めた方がよいと思います。

・収入が少ないといって減額するのではなく、１人１人の生活状況をふまえた上で必要かどうか考えるべきである。

・生活保護家庭は家賃を払っていないと思います。市営住宅入居者と民間アパート入居者と区別せずに同じく考える（取扱う）必要があると思います。従って市営住宅に限って「考えてください」というのは違うのではないかと思います。基本的に居住者が払えないのは、収入が合っていない状態です。収入に問題があるのか、あるいは支出面に問題があるのか、個別のケースの判断が必要となり、イメージのような生活保護基準というルールで一律に切って捨てる事にはならないと思います。

・収入は少なくても金融財産が多く、生活に困っていない世帯もあると思うので、収入と基準額との多少だけで判断するのはどうかと思う。

・市営住宅と固定せず民間アパートにも対象を広げて貰いたい。高齢になると引越し自体が難しくなります。生活の為に働き続けている私としては観点がズレている様に思えてなりません。

・世帯収入が少ない理由がやむを得ない事だった時に限るとした方がよい（世帯主が働けなくなり、家族も働けない事情がある等）。

・収入のみではなく、親族、全財産で決めて欲しい。収入を少なくすることはどのようにでもできるから。

・世帯の収入の現状を（原因も含めて）申請に頼るのではなく、調査をした上で決定しているのか疑問。本当に困っている人が救われるように。

・市営住宅は駅が近く立地が良いので改修、新築物件は世間相場にすべき。

・生活保護を受けている方と頑張って生活保護を受けないよう何とか苦労している方、はるかに生活保護を受けた方がよいと思われる方との開差は別なものと思う。
家賃成額ではなく、一部でも保護費が有って良いと思います。

・生活保護基準に関係なく、入居する住宅の家賃を被災の程度により１０～１割負担とする方法。

・収入基準はあると思いますが、年齢も加えて考えてください。若い人で元気な人は、まだまだ頑張れますし、他の民間の住宅に入れると思いますが、年を取って保護を受けずやっと

暮らしている人はたくさんいます。家賃ばかりか医療費やその他の費用もかかります。

・一定期間は良いが、長期的な免除に関してはきちんと考えて、無駄に税金を使わないようにして欲しい。

・アパート住まいの貧乏な人にも適用希望。一人世帯にも免除して下さい。生きていくのが大変です。

・新たな基準を設定し、対象を見直す必要がある。

・必要以上の財産を持っている場合（例えば家、土地、車、宝飾品等々）は減額しなくても良いと思います。

・収入の申告をもっと正確に調べた上での家族構成を含めた基準にしても良いのでは？本当に必要な方に提供されている現状ではないと思います。

・子供がいる世帯に、減額または免除制度を適用。

・世帯の収入のみを見るのではなく、状況、現状を細かく聞き取りして、支払える家賃額の相談する（例えば、収入が基準より多くても、実際は生活保護以下の生活をしている世帯もあるはずです）。

・住宅の使い方、光熱費の節約等の条件を設け、減額に応えるべき。大切に使用しない入居者の方には厳しくすべきだと思う。

・生活保護の基準がわからないので厳しいですが、年金額に応じた家賃になるととても有難いですね。

・年金受給まで体に無理をして就業する者、あるいは働き盛り時に大病をしたりと人生が変わる。市営住宅に入居希望の為、抽選されるが単身者向けの数が少ない。
現役で働けたとしても一生続かない。個別の事例によって（特に女性の一人暮らしの高齢者）は配慮していくべきと思う。それらの対象者にもメリットがある方法を検討して頂きたい。

・収入だけで基準を決めるのには偏りがあると思います。医療費の支出など、収入と支出を

算出した上で自由に使えるお金に対して減額等を適応するなどはどうでしょう？（支出→医療費など持病により必ず必要とするお金。食費等の娯楽は対象外）

・全ての制度の基準が低いのでそこから見直すべき。

・免除制度を受ける際に年金の納めた額など、状況が変わる前のその人の状況に応じて対応していく（例えば、年金を納めた事がない人や、きちんと働いた事がない人が困るのは当たり前で、きちんとしていても不況などで年収が下がった人と一緒にしてはいけないと思う。きちんと精査した上で決めて欲しい）。

・もっと審査を細かくした方が良いと思います。このような人は少数だと信じたいですが本当に苦しんでいる方、子供たちに、私達の大切な税金を渡して欲しいです。

・不正申請を見逃さないよう、マイナンバーと紐づける等不公平が無いようにすべき。

・大変だとは思いますが、家庭の状況や困難さなど様々な事情の調査をしっかりと行い、市民がある程度納得できる方法で行って欲しい。

・生活水準に合わせた家賃設定は必要なことだと思うが、携帯電話の他、所有する財産等も調べる必要があると思う。

・今は収入が少なくても、これから頑張って収入を増やしてたくさん納税する意思のある方を対象にすべき。頑張らない人だけが得してしまうのは違うと思う。

・収入だけでなく、資産状況も基準にする。資産が潤沢でも収入が少なければこの制度が利用できるのは不公平である。

・一つの基準は設けるべきだが、その基準を上回ってても、下回ってても状況によっては、制度を受けられたり、受けられなかったりするべき。

（４）市営住宅の家賃などについて、ご意見等

＜公営住宅入居者＞

・急に職がなくなってしまった時など、急を要する時の対応を素早くできる窓口、システムが必要。

・現状の制度で十分だと思います。

・私達は安い方だと思っています。

・本当に自分は助かっていると思います。

・大変助かっていますので、今の家賃のまま収入を上げたい。

・減免制度があり助かっています！

・免除制度のおかげで家賃が減免されて生活出来ているので、とても有難く助かっております。ありがとうございます。

・年金が少ないので毎年減免制度を利用していてとても助かっています。

・年金生活の為、病院代にもかかるため家賃は安い方が助かります。

・収入が少ないので、市営住宅に入れてありがたいと思います。家賃も適切だと思います。

・収入基準に応じて、減額もしていただく制度もありすごく良いと思います。私も昨年退職し、年金のみの生活になり、活用させて頂きました。助かりました。

・11 月入居したばかりなのでまだわからないが、光熱（ガス代が特に高く驚いている）、団地入居時のガス暖房、温風器やエコ（ロスナイブレーカー24 時間始動）等の備付け器具の故障、消耗が不安である。立地環境的には満足しています。

・これから年齢が上がるにつけて働けなくなるので、家賃減免制度は有難い。

・収入月額によっても減額手続きが出来、昨年、今年は大変助かりました。

・家賃減免を受けている世帯なので感謝しています。医療費が月に１万円位かかるので、

減免は助かります。

・私も以前減免で大変助けられました。とても良い制度だと思います。

・離婚後、市営住宅に入居しましたが、家賃も安くしていただき、助かってます。小さい子供がいてエレベーターなしの５階は大変ですが、どうにかなっています。

・家賃については現状で良いと考えます。以外の意見、年々高齢化が進み、高齢者が１階等に引越できる様な（空きが出来た場合）対応があればと思います。

・現在の家賃は適正だと考えている。

・減免制度が有るので、その分生活費に回す事が出来ます。とても有難く思います。

・大変ありがたく、助かっております。家賃安いため生きられています。大病ではない限り小欲知足生きられてます。ありがとうございます。

・定年を迎え、１年ごとの仕事更新になり、給与は減り市営住宅に住んでいて良かったと痛感しています。

・減額頂いて大変助かっています。

・夫婦で毎月病院に通い、交通費も歩行が大変で、タクシーですので家賃も減免して頂き有りがたいです。

・普段生活するうえで、たいへん助けられています。その分、地域の交流や自ら社会活動に尽力することでお返ししたいと思っています。引き続きよろしくお願いします。

・体調崩し、収入がない状態です。減額、免除制度のおかげで今、子供とともに生きています。本当に感謝してます。

・このまま減免制度を続けて欲しい。これから高齢になるほど必要。収入が減るので。

・状況に応じて減額または免除制度が受けられる事は有難いと思います。

・諸物価が値上がりしております（ガソリン、灯油含む）。先の見えない状況です。安いに越した事は仕方ないと思います。

・同居の家族が失業している間、届け出により減額して頂き、大変助かりました。医療費等々もかなりの額を要した為、この制度には大変感謝しました。体調を崩し、一時的に職に就く事が出来なかった際には助けられた制度です。

・現在、減免制度を受けていますが、毎年更新手続きをしなければならず年齢等を考慮すると将来に於いて果たして能力的にいつまで対応出来るか、個人的には心配しております。後は頑張るだけです。

・今この不安定な世の中で、主人の職もパートに行っている妻の収入が危うい年もあり、応じて家賃が決定してくれるのはとてもありがたいです。何かあった時にも相談できるのが安心して暮らしています。ただ、少し古い住宅なので家賃が少し高く感じますが、それでも助かっています。

・今は仕事をしていますが、そろそろ限界かなって思っています。そうなった時、修理等の自己負担を少し市の方で持ってくれると助かります。

・地域の同等家賃と比較するとかなり安く、23 年間申し込み続けて本当に良かったと感謝しながら共同部分の清掃に心がけてます。一年でも長生きして安心していけたらと思います。毎年、年間の医療費がかかり過ぎで減免してくれているので本当にありがたく感謝です。

・減免の制度があるので、私は人並みの生活が出来ていると思います。

・世帯収入調査を行っているが、収入面で家賃を決定されたとしても、学生、健康状態の悪い方を家族にいる方にとっては大切な収入である為、その面についても色々考慮しての家賃額を。

・前回家賃の見直しの件を知っていました。今後新たな家賃減免制度の傾斜家賃額が上がるのではないでしょうか？と思います。

・家賃は安いと思いますが、総収入より医療費を支払うと生活保護以下になると思いますが、生活は苦しいです。医療費も検討して欲しいです（一般的には家賃は安いですが、医療費の支払いをしての生活は苦しいです）。

・保護を受けている人は一定の家賃が支給されていると聞いている。基準を下回っている家庭は基準以下の家賃の場合、全額免除すべきだと思う。

・収入超過者になり出て行かされるのか、もっと家賃が高くなるのかとても不安だ。収入

超過者と言っても、支払いが多いので引越しすら不安。

・両親の介護以後 82 才の姉と生活しています。今は良いのですが、もし姉が一人で暮らすようになった時に手続きが難しく、又、姉の収入も少ないので心配です。いつもありがとうございます。

・物価の高騰により、食品はもちろん電気、ガス等上がり、生活が苦しく 64 才と 67 才ですが病院代に 2 人共かかりものすごく苦しいです。少しでも家賃が下がってもらうととても助かります。本当に去年からの値上がりで大変です。宜しくお願いします。

・家賃の減免を入院時だけではなく、通院時の医療費を控除に入れていただきたいです。年金の中から毎月の病院代、薬代の負担は高齢者医療前の私にはとても大きいです。

・生活保護基準を若干上回っても障害があって働けない上に中高生の子供がいる世帯はこの物価が上がっている状況はかなり苦しくなっているので、そういう点も検討して頂けるといろんな方が助かると思います。

・収入が基準額を下回っている場合、減免申請しなくていいように初めからその世帯に見合った額の金額できて欲しいです。

・ベースアップを要求している政府のやり方に、年金の人はどうしてベースアップの事を考えれば良いのか。10 万程度の収入で家賃が 3 万 1 千円支払うと本当に苦しい。もっと安くして減免させて欲しい。

・コロナの影響もあるから安くした方が良い。

・世帯収入が少ない為仕事をしているのに、仕事で収入が多くなると家賃が上がると困ります。なんの為に仕事するのか分かりません。年齢が上がると仕事をできなくなるので減免等が必要です。

・家賃をもっと少なくしてください。

・何度も（毎年）減免申請しても家賃が安くならないので生活が苦しいです。生活保護を受けている方よりも働いている人が生活苦なのはおかしいと思います。

・毎年、築年数が経っていくのに対して、家賃をもっと下げても良いと思います。

・現在、収入超過者になっており、年々家賃が上がっています。収入超過者でも決して、

生活が裕福な訳じゃありません。家賃が多少上がるのはしょうがないと思いますが、もう少し安くして頂きたいです。

・世帯収入だけで、家賃を決めている事があり、家庭により子供にお金がかかったり、病院代で支出があったりします。同じ市営住宅内のお年寄等に比べて生活が大変だと思う事もあります。市に相談しても仕方がないという感じの事を言われて終わりです。生活を少しでも楽にしたく市営住宅にいる大変さを分かってもらいたいです。

・生活保護の世帯は家賃もかからないので、基準額を上回っていても苦しい状況の世帯はあると思う。状況に応じた減免はあるべきだと思います。

・一世帯の家族の収入で家賃額を決めて良いと思います。ただ収入がなくなり、困った時に相談に応じでいただけるのであれば。

・生活保護基準以上の収入でも生命保険等の支出を考慮して減免制度を受けられるようにして頂きたい。

・私は１人親で子供を育てています。子供が学業からちゃんと受けられるように少しでも貯金したいです。収入は普通から少し低いですが、子供を育てるために減免は必要だと思います。

・私は家賃減免制度を受けております。私の収入と長女のアルバイト収入のみですが、生活はギリギリです。この制度がなくなってしまうと更に生活が厳しくて、より子供たちへの教育費を減らさなければなりません。今後も制度の継続をお願いいたします。

・年金収入が生活保護収入より少ないのが現状（生活が苦しい）。高齢者（７０歳以上）が体が悪いのにアルバイトをして生計をしている。家賃の減免は、基準より上回っていても内容を重視してほしい。減免は助かります（収入が少ない世帯はもちろんです）。

・私自身も市営住宅に入居し、減免を受け、何とか生活を維持していますので、市営住宅はできるだけ家賃を安くしてほしいと思っています。

・収入に応じての家賃基準ですが、もう少し家賃が全体的に安くして頂きたいです
（生活が苦しいためです）。

・年収に比べて手取りが少ないが家賃が高くて毎日たいへん。

・主人が亡くなり１人になりましたが、月々の支払は変わらないので少し大変です。

・年金生活者の収入について家賃との関係を多様に考えて欲しい。

・部屋の間取り、広さの割には家賃が高すぎる。

・生活保護基準と少ししか変わらないのに家賃が高い。

・収入が少ないのに、家賃が高すぎます。団地の意味がない。

・年金生活者への一段階上の配慮をお願いしたい。

・駐車場代がもう少し安いと嬉しい。

・収入基準を変えてもっと安くした方が良い。

・前年の収入で家賃が決定するが、その年度に無職になったが、減額の対象にならないので大変。

・家賃は安いが修理は自己負担が多く驚く！退去時の費用の高いとの話で不安です。

・収入によって家賃が決められていますが、収入が増えても家賃が高くなるため、一向に生活が豊かになっていると感じることができません。

・これからも所得が少ない方の味方であって欲しいと思います。

・65 歳になっていますが、働いています。65 歳になったら家賃を安くして欲しい。低所得で貯金がありません。老後の貯蓄をしたいです。

・年金だけの生活（夫婦）が最低であれば、家賃の支払いが一番負担部分の為、高齢で市営に入っている（持病あり）為、働く事も出来ず、病院通いで出費が多い為、減免制度はあるべきだと思います。

・基準額の収入があっても通院に多額の薬代などかかる者もいるが、減免を受けられないのはおかしいと思う。

・私は年金が生活保護を受けている方より少ないです。高齢ですので、病院代もかかりますので、市営住宅に入居させて頂いて減額(家賃)もして頂いて非常に有難いですので、これからもよろしくお願い致します。

・現在仕事をしているので、収入があるが辞めた時収入減になったら払えなくなる事と思う。

・家賃は安くて助かりますが、物価高で生活は苦しさを増しています。

・生活保護は受けてないものの独居で高齢であるため、年金も少なく家賃が減免になるのは本当に助かります！！民間アパートでは生活保護になると思います。民間アパートでは年金の半分が家賃になります。

・もう少し家賃下げてください。

・年金生活者にとって市住宅は有難く思っております。なるべくなら、家賃等、高額にならないようお願い致します。

・持病、通院で低所得で家賃が値上がりするのは、生活するのが大変である。

・年金生活で生計を立てていますが、毎年年金が下がってきています。本当に苦しい生活です。家賃も年金生活者に対応してください。何とかして欲しいです。

・年金収入が少なく、生活保護を受けています（不足分）。家賃が減額していただければ幸いです。

・よく分かりませんが、家賃を減額して頂いて何とか生活出来ていますが、冬場は厳しいです。

・医療費、国民年金、生命保険（介護保険）、車の任意保険・自動車税等についても減免の査定に加えていただければ助かります。

・エレベーターが無いので、もう少し減額して下さい。

・エレベーターと灯油給配がない団地で、年々高齢化していく中、大変生活がしにくいです。又、車を所有しているのに、タイヤをエレベーターなしで５F に持っていくのは大変な作業です。引きこもりにもなります。

・昭和 50 年代前半までに建てられた市営住宅は老朽化が進んでいます。水栓設備もかなり古く、インターフォンもないため防犯面も心配です。より早期に建て替え工事を進めていただきたいです

・築年数の古い住宅は不便さを考慮して家賃をもう少し下げても良いと思う。

・民間より安いのですが、古いため除湿等にお金がかかり、寝具などカビたり、乾燥の為電気代などかかり、年金では負担を感じる。

・このボロさで今の家賃はちょっと高いと思います。

・トイレ、お風呂がとても古いですが、その他は満足しています。

・ガスストーブ代は毎日つけっぱなしで高くなります。支払いが苦しくなります。食事代がなくなります。

・最近修理に対する個人負担が多いので少し考えて欲しい！！

・便器のフタが無い。二重窓になってなくとても寒いのに。そもそも家賃が高すぎる！

・築年数の割に家賃が高い。

・働いているのに生保基準は難しいと思う。各世帯の収入%減で免除して欲しい。

・家賃以外に風呂のレンタル料金や管理費がかかるのが辛い。網戸を個人で購入するのが辛い。

・現在は建物が古いせいか壁（風呂場）が凍っている所で入浴しています。風の向きによっては雪が入ったり、安いので小言は言えませんが、暖かい生活がしたいです。

・家賃は安いですが風呂がま（バランスがま）のリースは必要ないと思う。湯沸かし器、ストーブ、網戸など必要なのに付いてないものも多くて、家賃以外の支出が多い。初期費用が思ったよりかかった。けれど、暖かくて過ごしやすいです。コンセントの数が少ない。洗面台の鏡がないのも不便。水しか出ないのも少し残念。

・浴槽と湯沸かし器が住人負担でリース契約することになるため、実質家賃が+2000 円くらい増額となっている。古い住宅のためやむを得ない部分もあるかとは思うが、今後建設する市営住宅があれば浴槽は備え付けにしてほしい。

・世帯収入が基準額を下回っている場合、免除という形にして欲しい。少ない年金で病院にもかかれず頑張っている人がたくさんいます。

・所得の応じての計算方法などで家賃が決まるが、区分の金額の幅を狭くして細かくして欲しい。

・もっとわかり易く、収入の基準以外で建物の老朽化（外壁だけでなく、家の内の状況により、家賃を決めるべきだと思う。建物が古く、家の内の方が結露等で、壁、天井のカビ、雨漏り等で、とても住める状況ではない建物が多く、改善して欲しい。

・かなり古くなってきています。部屋の中、雨漏り。換気扇の役割果たしていない。音が鳴ってうるさい。ドアのゆがみ。閉まらない。民間のアパートならきれいにしてくださいますが、こちらは自費らしいですので、そのままにしています。もう少し、30 年以上経ちますので、家賃をお安くして頂くとうれしいです。

・とても安くて助かっています。今は車を手放す人も多く、駐車場も空いた所が多くあります。一般の方に貸して収入を得たらどうでしょう？

・基準に基づいて決定していますが、少しでも下げて生活費に充てたらどうかと思います。

・減額されて今でも十分安いのですが、母子家庭世帯で子どもにお金かかるのでもう少し減額していただけるととても助かります。

・子育て世代にも安くして欲しい。

・母子家庭は免除が必要。

・子供がいる家庭の場合、生活にかかるお金や教育費など収入があったとしてもかかるお金があるので学生である場合など状況に応じた対応をしてもらえると助かります。

・子供が社会人になっても 2 人世帯収入が合算しての家賃になりますが、生活がいつまでも潤わない。家賃が上がる為。

・少ない年金のみの収入でも減免対象になるが、60%減までにしかならず、今後は生活保護に頼るしかないと考えています。状況で考えて欲しい。

・年金暮らしなので、もう少し安くなると助かるのですが。

・現在 70 才、年金が 1 ヶ月分にしたら 85,000 円位しかなく、生活費が苦しいので 1 ヶ月 35,000 円～40,000 円のパートに出ているが、働くのも困難になってきている。減免受けら

れて助かっているものの、この先働けなくなり、年金だけでは困難なのでもう少し減免額最低 9,000 円以下になる事を希望いたします。

・家賃減額を受けております。これが無ければ、生活保護申請しなければ生活出来ません。

・高齢者で収入の少ない人にとっては最後の砦になるので低い金額にしてあげて欲しい。

・生活保護基準を下回る収入の層にとっては、入居してから現在に至るまで家賃が高くなる度に負担感が増大しています。公営住宅の趣旨から考えて、より低収入の世帯に手厚い減免制度を考えて頂けるとありがたいです。

・近効の状況を配慮されて決めているらしいですが、住宅の建築年数や老朽化を配慮して欲しい。家賃以外にお金がかかっているし、直しても自分のものでないのに、金銭面が厳しいです！！

・市営住宅の暖房（光熱費）は各団地の設備が異なると思います。物価高騰に伴い、ガス、電気料金の変動が大きい現在、季節により家賃の減額制度があれば良いと思います。

・収入しか見ないのではなくてその家庭の状況も考えてもらえるとうれしいです。頑張って働いても入ってきたものだけ見て決められるので、生活は苦しいですが家賃は上がっていきます。だけど、毎月同じだけ働いて同じ金額をもらえるわけではないので、どうしても他のアパートで生活出来るほど安定はしていないので、市営住宅でお世話になっています。

・築年数が古いので家賃が安くても良いと思う。駐車場代も安くして欲しい。

・収入がいつどうなるか分からないため、収入に対してもう少し減額のタイミング、月数、チェックする時期を設けて、その都度少しでも生活面で暮らしやすくしてもらいたい。

・地域暖房が高額で困っている。家賃同様に減免制度が欲しい。定額なので節約もできない。※光通信対応のエリアなのに建物が対応してなく、現社会状況に合っていません。困っています。

・年齢と共に働けるお給料が限られてくるのに、医療費がかかってきます。入院費だけでなく考慮して欲しいです。今のところは安いので助かっていますが。

・収入が少なく障害がある場合、免除であっても良いと思う。

・働けなくなった時の事が心配。

・生活状況（子供が大学生で授業料が高く、生活費の負担額が大きい。病院も入院のみではなく通院負担も家計への圧迫負担がある）等、各家庭の経済状況を鑑み家賃減免の対応をしていただきたい。

・本当に困った人に対して救済をする方法を考えて欲しい。まじめに働いて低収入だったり、子育て中だったり、高齢だったりそういう人がいるという認識を持って欲しい。ひとり親で２人の児童がいます。今、頑張って働いています。各々の家庭状況は違うので、考えて欲しい。減免制度は、維持していかなければ私達は生活出来ない。

・世帯収入も大事ですが、世帯の人数(子供が 3 人以上、高齢者と同居、介護等)も考慮した方が良いと思います。

・2 人目の子供が産まれて嬉しいが、生活費が上がって税金も上がって給料は上がらないので、世帯人数も考えて家賃に反映して欲しいと切実に願います。要は人数に応じて減額して頂きたいです。

・突発的な原因が理由であっても減免申請ができる現在の仕組みは良いと思います。

・私は一時的に収入が少なくなり、減免を受け本当に助けられた為必要と思います。過去に骨折した時は仕事で収入受けられるまで保護を一時的に受けられたに至ります。

・1 人世帯でも、子供達が帰って来た時に寝る所が 2DK では狭いです。せめて 3DK に住まわせて欲しいのと減額も受けられるようにして欲しいです。

・障害者用の部屋を増やして欲しいです。風呂のある部屋にして欲しいです(全住戸)。高齢者の多い住宅に色々なフォローをして頂きたい。

・所得が増えてもないのに家族が減って超過の計算になり、どんどん家賃が高くなり生活が苦しくなるのは困ります。

・家賃については何を言ってもどうにもならないと思いますので、古い市営住宅の寒さ対策をもっと考えて欲しいです（物置の扉設置など)。

・生活保護基準、あまりわからないが 2 人の生活厳しいので考えた方が良いと思います。

・建築年数に対してもう少し家賃の減を望みます。内部の補修があるわけでもなく、自分でお金を出さなければならない部分が多いと思います。

・少ない年金でも何とか生活できる家賃になっているので、ありがたいことだと思っています。ただ、各部屋の天井や壁、床などの傷みを自力では直すことができずにいます。

・築 35 年の一階に住んでいますが、壁がカビたり、畳がカビて腐っていて交換しました。交換時の補助金を出して欲しい。一階に住んでいる人の家賃を下げて欲しい。

・築 40 年を超えていて、水廻り、トイレなど旧式の設備の場合は設備の改善又は家賃の低減を希望します。

・築年数が 40 年以上経っている市営住宅なので、家賃が安いのは助かりますが、設備や建物の老朽化がひどく、耐震住宅ではないので安全面が気になります。古い市営住宅は建替えして欲しいで思います。

・扶養が居なくなったら家賃がすごく高くなりました。老後の貯蓄をと思っていたので残念です。とても古い団地で家賃とのギャップもあるので、築何年とか利便性も考慮して家賃を決めて頂きたいと思います。

・住宅がとても古いので、それに応じて家賃を下げて下さい。

・この住宅に 43 年も住んでおり、できれば改善しても良いのでは？寒いですので、特に風呂場を直して欲しい（バスルーム型）。

・トイレ、お風呂がとても古いですが、その他は満足しています。

・収入が多くても、家賃が高いと給料も上がらず家賃も高い。そしてこのご時世物価も高く、そして市営住宅を借りているのですが、最後に市営住宅を出ていく時の修繕費とかも積み立てしなきゃならない悩みもあります。

・設備の古さも家賃に反映して下さい。

・生活保護基準を収入で上回っている収入（年金のみ）であっても毎月控除される額が多く、又、医療費の出費の多い人は生活が厳しい。高齢になると階段の昇降の歩行が大変になり、エレベーターの無い階の住人は大変です。又、車椅子の生活になった場合はどうすれば良いか困り転居（施設、対応住居）の問題があります。

・建築年数の経過の割りには、家賃は高いと思うけど、民間から比べたら全然安い方だけど、家賃以外にも室内の修繕にもなんとかしてもらいたい！！

・老朽化している為、修繕費が高額な時が有り、直す事が出来ない時有り。色々な所に支障がきてる。

・色々不便なことがあります。例えばセントラル給湯器はないし、冬の時には灯油を自分で買うとか、トイレでおしりを洗うことが出来る環境はありません。この問題を解決するために必要な措置を講じた方がよいと思います。

・状況によっては「世帯収入が基準額を上回っていても、状況に応じて減額または免除制度が受けれるようにした方が良い。」のような世帯と収入の関係でも減免があると良いが、それだとお金がおいつかないと思う。「世帯収入が基準額を下回っている方を、減額または免除の対象とすることでよい。」が良いのではと思う。安く住まわせてもらっているが、かなり古いので結露もひどすぎるし、寒いので安いのも相応なのかもと思ったりする。

・ウェブで回答できるアンケート形式で助かります。郵便だと投函が億劫で。アンケートの事業委託をされていることにも効率面から良いと思います。

・安く借りさせていただいて感謝しています。今でもギリギリの生活で、娘が中学に進学するにあたり、不安はあります。でも、家賃だけどうこうといった問題ではないですよね。ありがとうございます。

・私自身、今、働いて家賃はフツーだと思っているが、より多く高く賃金（収入）をもらっている人はもう少し高くてもいいと考える。

・このような情勢だからこそ、市営住宅は弱者に優しい。体制として基準を高くせず、これまで通りカバーして欲しい。

・今の所、まだ働いているので、現在の家賃でなんとかまかなっていますが、仕事を辞めた時やはり家賃の減免は助かります。

・普通に家賃もわかるんですが、市営住宅の環境の良し悪しによっても家賃の安い、普通を決めたほうが良いと思います。

・家賃もだが、市営住宅の設備、築年数が古いので、暖冷房や家の修繕の負担が大きい。家賃だけ見たら安くても自己負担分を考えたら決して安くはない。

・住宅の年数で家賃を設定した方が良い。

・上限が 25,000～30,000 円までの家賃が望ましい。

・世帯収入が基準値を超えた場合は、近辺賃貸物件と同等の家賃にすべきだと思う。

・家賃の算出基礎で収入月額（認定収入）が決まりますが、とても分かりづらいです。自分が家賃減免に該当するのかよく分かりません。なぜなら収入の所得計算が 65 歳以上が 64 歳以下により計算式が異なる為です（計算の仕方も分かりません）。また、65 歳以上で家族が多かったり、障害があったり、母子家庭だったり、生活保護世帯だったりする方は控除がたくさんあり、世帯収入が生活保護の基準を下回っている場合には減免するという現在の基準には無理がありすぎます。大体、生活保護制度の最低生活費とはどの位なのですか？単純に手取りの金額で比べられてもその手取りの中から私達は医療費はかかるし、NHK 放送代金、下水道代金、家賃・暖房費、ごみ袋代金、通勤以外の交通費等わかっているだけでもこれらの費用を支払っています。これらを差し引いた金額はおそらく最低生活費を下回っていると思います。だからと言って「別の方法」をどのようにしたら良いのか具体的に思いつく訳ではありませんが、現在の制度には不公平さを大いに感じています。

・もう少し手続きを簡単にしてください（免除制度）。

・今減額を受けているが、係の人に聞くまで受けられるかわからず、やりくりが大変だった。具体的にわかりやすく発表してくれたら、もっと前から受けられたかもと残念に思った。

・どのくらいの収入で、減免申請ができるのかわからず、申請するのをためらってしまうことが多々あります。

・育休中とかも減免の対象にしてほしい。

・場所（区）により、家賃に違いがあるのは知りませんでした。抽選に申し込むのに仕事を休まなきゃいけなかったり、手続きも平日のみというのは時代に合っておらずとても不便な思いをしました。

・市営住宅に住む人は私みたいにお金がない。車がない人もいるので、出来るだけ住みやすくスーパーや安い買い物の場所を近くにおいて欲しい。また、宅配サービスが充実している場所にして欲しい。

・入院すると収入が少なくなるので具合が悪くても入院せずに通院で済ませています。しかも3割なので色々な病院に通院すると医療費もかなりかかっています。通院も医療費控除の対象になると良いのにと思います。コロナ禍で仕事の少なくなり、物価高でも給料は少なくなる一方です。本当の弱者とは誰か。アンケートの機会をいただいたので思いのたけをしたためました。どうかすべての世帯が納得いくような、目先の金額のみで決定するような制度は見直していただくよう、期待しております。

・思っていたより家賃は高いと思った。最低家賃であっても自治会費が高すぎて負担が大きい。

・町内会費、月1500円は高すぎる。

・自治会とか町内会やめて、すべて市で管理して欲しいです。自分の住んでいる市営は自治会費が高すぎるし、役員の上の人間は勝手に物事をきめて迷惑してます。

・減免は受けていますが、自治会費、駐車場代等収入の少ない者としては、負担は大きいです。自治会費を支払わない事を許されている世帯がある事に疑問を感じております。

・今のままで家賃は良いと思いますが、市営住宅の空室が多いので、早く入れた方が良いと思います。

・1人世帯でまわりも年齢も高い方多いので不安。空き部屋も多い。これも又不安になります。

・家賃減免というありがたい制度を使っておりますが、長い間住んでいると色々な所に不備が出て来ますが、もう少し親身になって話を聞いて対応して欲しいと願っております。

・駐車場の減免対象の見直し検討をして欲しい。

・子供の進学等大きな出費がある時期に減額制度があると良い。生活保護は子供に就職させるため、保護に頼らず生活しているが貯金もなく、収入を得るにも限界があるため国の援助が子育ての大きな助けになる。

・世帯の年収が毎年増減するので直近３年とか５年の平均年収で計算する（希望者のみ）など選べると生活水準を維持しやすいと思う。

・収入が増えても物価も上がり、以前より生活が苦しくなっていても今まで通り家賃も収入に応じて上がるので辛いです。物価上昇や学費のかかる子育て世帯のことも考えた家賃

設定にしていただきたいです。

・現在は入院の費用は減免対象と聞きました、退院費も含めるべきと思います。

・入居時は家族が多く、部屋数の多い住宅に入居していても、死別や子供の独立で１人では住むのに広すぎ、家賃の割高になる単身用等への住み替えをしやすくしてほしい。広さも家賃も必要な人に見合ったものになると思う。

・世帯収入が多少、生活保護費より多かったとしても医療費や親への仕送りなどにより、収入の逆転が起こる場合も多い。働いて収入を増やしても結局は家賃が上がり、いつまでも同じ状況になる。

・最低賃金も上がり、物価も上がっています。家賃の収入基準も昔よりは上げて欲しいです。

・年数が 34 年も経過すると色々な問題が発生し、移住者の不足部分を（町内会）負担も増えている。建物だけでなく、全体的な問題点を検討して頂きたい。

・高齢になってから退職が近い時に、収入が高いので退去になるのは厳しいです。確実に収入も数年したら減額となるので！！何故今の状況になるのかを配慮が必要だと思います。

・市営住宅から市営住宅への引越しのできる環境をつくる方が難しく、市営住宅から市営住宅への引越しを可能にして欲しいです。古い住宅の建て直しを考えて欲しいです。

・市営住宅間の移動（引越）がもう少し出来るようになると良いと思う。家族構成（子供の成長等）の変化で仕事をする事が出来るようになっても都市中央部から離れすぎており、収入上昇が見込めない結果、市営住宅に依存してしまう為。

・入居したらずっと住んで良いというのはどうなんだろう。２０年住んだら独居老人住宅では？と思う。どんな地域もそうであると思うけれど、新しい解決策はないかと思います。

・世帯人数が減ったら、早く住み替えた方が住んでいる人も新しく入る人にとっても良いと思います。

・家賃とは関係ないのですが、生活道路の除雪に関して、今現在は各自治体、町内会にお任せしていますが、高齢化、居住者の減少等今後自治会、町内会でやれる範囲のものでは

ないと思います。5 年、6 年後を見据えて札幌市が主導して業者を選定していく体制づくりを考えて頂きたいと思います（家賃に除雪代金を上乗せする等）。

・母が、特養に入所していても「家族人数」で家賃が計算されますが、不条理ではないでしょうか。

・家賃減免はとても重要な制度だと思います。しかし、この制度の仕組みが不明瞭だったり、より社会的弱者の方々に限って、知らなかったりするのは問題だと思います。明らかに困っている世帯にはもっと積極的に市営の職員等が説明する必要があると思います。

・所得に応じて適切な家賃の設定は必要だと思う。状況に適したセーフティネットとして、フレキシブルな対応が必要だと思う。

・現在の免除額が異常なくらい多額だと思う。税金で充当しているのだから免除額は最高でも 3 割程度の免除が妥当だと思う。

・家賃に対して建物の質（グレード）が高すぎるので、できるだけ簡素なつくりにしたほうが良い。民業圧迫とならない範囲で最低限の居住レベルとなるように。また、低所得の方向けの施策としての住宅にしては、高級車が停められているように思う。

・窓口の方には、丁寧に対応して下さり、ありがとうございます。個人的には多々悩みはございますが、苦しい生活での助けとなっています。

・家賃の見た目の額以上に現在のようなインフレでは生活苦に陥る可能性がある。そこを踏まえると基準額に拘らない減免制度が必要と考えます。

・市役所に相談に行けば話を聞き入れて下さるので、もし働けなくなりましたら安心して相談に出来ますので有難い事です。以前入院していまして減額１年間して頂きました。

・相談できる窓口がありますので、個々により事情が違うところから対応して下さる事が望ましい。どれだけ拾い上げられるのかわからないが、話す事の相談できる窓口が有る事を常にそこに人の生きる暮らしのある限り時代が変わっても必要なもの。

・家賃よりも市営住宅をもっと増やしてほしい。

・現状不満は無い。

・衣食住、住が安ければその分、衣食に使えるので豊かになり、文化面も豊かになる。

＜公営住宅以外の居住者＞

・いままで通りでよいと思う。

・適正な価格と思う。

・現行でよい。

・妥当だと思います。

・減額· 免除は助かった経験もあり他の賃貸ではないので持続してほしい。

・空いている市営住宅もあると聞きます。住宅と立地によって家賃の違いではありますか？有効活用につながるような家賃設定だと良いと思う。

・そもそもの市営住宅の家賃が低すぎる。引き上げるべき。

・家賃が格安で市民に貢献できている。

・新築ならともかく古くなった住宅でも家賃は高いと思います。

・高すぎる。

・もっと安くした方が良い。

・収入が少ない人には何かの補助が必要だと思います。

・行政手続きの簡素化の観点からは収入基準だけでもいいと思いますが、ひとり親家庭や扶養家族が多いケース、親の介護など、家庭によって事情は様々です。自助努力だけではどうしようもない場合もありますので、行政による支援制度は必要だと思います。

・ひとり親家庭で、こどもや自分の体調不良で収入減、就労不能状態になった時、前年とは関係なく直近の収入から申請、減額などして頂けるのはとてもありがたく、命を繋げています。ありがとうございます。

・ずっと同じ家賃はおかしい。毎日しっかり調べて欲しいです。すべて優遇されていておかしい。それ以上大変な人がいっぱい。

・札幌に住んで市民税を払った年が長い人を優先的にしたらよいと思う。他の場所から引越してくる人は後回しにする。

・市営住宅に入りたくても当選しません。

・市営住宅の家賃がどれ位か判りませんが、居住数の需要に対して供給が足りていないと思います。各区に大規模な市営住宅を建設した方が高齢者や子育て世代、独身者が経済的不安から解放され、札幌市の経済が円滑に廻り税収増も見込まれると考えられます。そして少子化対策も期待出来ます。このまま対策をせずにいると札幌市の人口も税収も急激に減少しますよ。もう手遅れだと思いますが、期待はしてません。

・相場と調整を定期的にした方が良いと思う。

・もし収入が増えても家賃が上がってしまうと、生活は楽にならないと思います。

・必要な制度だと思いますので、個人それぞれの状況をしっかり調査して柔軟に対応して欲しいです。また悪用してる人には厳しく対処して欲しいです。

・収入がある程度あっても困っている人は多いと思う。特に子育て世帯に手厚くして欲しい。市営住宅の立地も考えて欲しい。築年数も。

・市営住宅の設備状況（エレベーターやバリアフリーの有無など）により家賃が異なるようにしないと不公平だと思います。

・既存の市営住宅に加え、競売物件、未活用物件及び借上げによる市営住宅を拡充する事により多様なニーズに対応。

・メディアの情報やイメージしか知らなかったので、市営住宅、生活保護費について調べました。知っておいた方が良いと思いました。

・その家族によって生活状況が違うので、一言で言えないが、手続や手間がかかりすぎる。家賃が高いと思う。申し込みを老人にもわかりやすくした方が良い。規則が多すぎる。困っている人にはすぐ入居できる事が良い。

・まだ分かりません。ただ正しく、私達の納めた税を使って欲しいです。

・セーフティネットの一つになるように進めて欲しい。

・借金、貯金、資産、親戚など考慮すべき点はあるが、個人情報をどこまで開示して支援を受けるか。寮がない学生も対象にしてはどうか。家賃は同額（同条件）ではなくても。

・公営にしては、単身者向け（１ＬＤＫ）の家賃が高いように思う。

・余りにも立地条件の良い場所（地下鉄徒歩圏内 etc.）にある市営住宅は建替えせずに取り壊して跡地の有効活用を図った方が良いのではないかと思います。

・収入が下回って（生保受けています）市の住宅が不足だと思います。市の住宅に入りたくても病院、買物が不便で入居できません。市営住宅希望。1 人住まいです。老人が入れる住宅が希望です。75 才です。お願いします。

・家賃よりも単身向けが少ない。家族向けは結構募集しているので空いてる部屋が
多いなら、単身者も入れる様して欲しい。

・市営住宅の家賃だけに限らないが、家賃はいくらなのか！？もう少し分かりやすく税金の使い方について公表し欲しい。面倒とは思うが、札幌市でアプリを作るな
どして課ごとにより明確にして欲しい。

・真剣に誠実に生きている人を助けるセーフティネットの機能は、社会に必要だと思います。

・住宅の確保に困っている所得の少ない方を対象にきちんと決められた制度だからありがたいと思います。

・自営業なので、その月の収入が不安定なため入居をしやすいシステムにして欲しい。

・火災などで急に全てが無くなる事はあるので、収入によらず被災した場合は特に、平等に申請したら免除受けられた方が良い街だなあという評価になると思います。

・人口が減少し、アパート余りの中、そちらで補填した方が良いのでないか、節税！！

・エレベーターが必須だし、耐久に力を入れた建物で長く使用できるのが大事では。

・市営住宅は高齢者の入居が多いので、是非エレベーターを設置してあげて欲しい。

・限りある税金で運営している意識でムダの無いようにしてもらいたい。

・家賃について今回初めて知りました。本当に困っている方々には、国が同じ定めで行えたらいいですね。

・どの補助も同じだが、基準を上回った世帯の補助は速やかに見直し、本当に必要な世帯に配布すべきと考える。

・担当部署の手間は相当なものでしょうが、社会保障の充実を切に望む。人生何が起きても（感染症、事故、その他等）、将来へ向けて立ち上がる方々への”支え”。

・本当に必要な人が入居できうるようになって欲しい。

・年金生活で月支給１桁の人もいる。その方も若い時には、収入があり十分に税金を納めてきている。若くて働かない人を助けるのではなく、十分に若い時働けなくなってしまった年配者と低収入者を助ける制度を作って、家賃金額を設定して欲しい。

・他の支援にも言えるが、生活保護や基準のほんの少し上回っている人は一番手当てがなく、苦しいと思うので状況に応じ相談できるようにして欲しい。

・収入＋保有資産で基準を考えた方が良いと思う。収入が少なくても、金融資産をもっている場合がある為。

・戸数を増やして欲しい（私も入居希望しています）。

・障害者であれば、収入があっても家賃を下げて欲しい。

・医療費、消費税の負担も大きい。物価はどんどん上がる。市営住宅入居者だけではなく、低所得者全てを見て欲しい。築 50 年近くなる家の修繕費もどうにかして欲しい。

・家賃というより何年待っても入居できない。何年も待たされる現実。これでは、市営住宅の意味がない。失業しても高額家賃を払うのでは、行政自体に問題があるのでは？

・現在の日本に於いて、それなりの文化生活を楽しめる余裕を持てる家賃（なるべく低額になりますが）が良いと思います。

・本当に必要なサービスが行きわたればと思います。ギリギリのところで無理をして自力で生活している方もいれば、サービスを受ける対象の方の中でも疑問を感じる人がいるので。でも、難しいと思います。

・家賃とは関係ないのですが、市営住宅に申込みをしてもなかなか入られず（単身者）、募集も4、5Fが多く、老人にとってはきびしいです。なんとか単身者の枠を多
く増やして下さい。よろしくお願いします。

・基準額を下回って生活してる人はたくさんいると思います。本当に困っている人に時間をかけず、利用できるように対応して欲しいと思います。

・家賃減免制度という言葉を初めて知りました。みんなに届くよう、わかりやすく説明した方が良い。

・既存の市営住宅で運営し、建替えや新築等はぜずに民間の賃貸住宅等に家賃補助等行っていった方が良い。

・当選した人にだけ優遇があるのは不公平。

・いざという時には希望する事もあると思うので、その際にすぐ手続方法等分かるように情報提供をして欲しい。

・世帯収入が基準額を上回っていてもお子様が多い場合に苦しいと思うので、そういうのも考慮していただくと少子化対策にもなると思います。

・入居した事がないので、よく分かりません、高齢化に伴い利便性の良い所に住みたい方が増えているが、なかなか入れないと話を良く聞きます。利便性の良い所、適当な家賃で入れる所を増やしてくれるよう願います。

・古すぎて入居がないのはもったいないので、修繕ではなく建て直しをして、家賃を増やし効率よくして欲しい。又は入居が少ない市営住宅は壊して土地を一般へ売った方が世の中まわっていくのではないでしょうか。税金で活用されてないのはどうかと思う。

・市営住宅の家賃は、1LDK～3LDKすべて安くてうらやましいというのが正直な感想です。本当に必要な人に市営住宅が当たれば良いと考えます。

・現職リタイヤ後、市営住宅に入りたいが、古い建物が多く悩んでしまう。少しずつでも建替えは必要と感じる。

・各世帯の所得に応じた家賃で提供で良いと思います（生活保護の基準を元に）。

・金額よりも入居方法の見直しを。

・生活が苦しいのはどこの世帯も一緒なので、変に緩め過ぎず、しかし、厳しくし過ぎずやっていくが良い。

・収入や生活状況に合わせて家賃を決定し、みんなが住みやすい住宅をお願いします。

・入居者の所得についてもっと精査すべきだ。

・倍率が高く、申込みをしても住めない。

・住宅は安全なくらしに不可欠。

・年々高くなっているので、引越しの初期費用もきびしくなるし、少なくとも今より上がらないで欲しい。土地が高くなって家を建てられない人のためにもよろしくお願いします。

・収入だけ基準にするのではなく、固定費や支出項目など総合的に判断しての減免制度を利用できるようにした方が良いと思う。

・もう少し安くしてあげると良いと思います。

・市営住宅は民間に比べて安すぎると思います。

・安すぎる。立派過ぎる。建物にお金をかけすぎ。

・安すぎる。

・もっと下げた方が良いと思います。

・家賃減免という制度続けるべきです。

・生活に困っていない人も市営住宅に住んでいることにより本当に必要な人が入居できない。

・市営住宅の家賃に限った事ではないですが、そもそも生活保護基準の基準値や計算方法が不明で、本当にその基準で問題なく生活が出来ているか疑問です。昨今の物価上昇に対して色々と見直す部分が有り、都度対応していくべきだと思います。

・空いている市営住宅が多い。有効に活用できる方策が必要。家賃は安く設定されている

ように思います。

・身近に市営住宅に住んでいる人がいないので具体的には分からない。私は持ち家だが、設備のメンテナンスにお金がかかる。年金＋パートの生活では、うらやましく感じる部分がある。収入だけではなく、家族構成で生活は違うので一律には決められないかもしれない。

・住宅建設地は、地価の安い場所にすべきと考えます。北 24 条や光星団地のような好立地には、別な有効利用案があると思います。

・安くても住み良い整備が整ってほしい。入居しやすくなって欲しい。

・厳冬期間は一定程度割引してもう良いのでは（暖房費の補助）。

・皆苦しい生活をしていると思うので、市営住宅の家賃も的確な金額でお願いしたい。

・物価とのバランスをとった家賃設定が優先すべし。弱者救済が第一とすべし。

・病気等による収入減に場合のみに限定すべきだと思う。

・明らかに収入面で困っている人に対してだけ家賃の検討をした方が良いと思います。

・全般的に少し安い事。基準以上の収入でも入居者が居る事。

・現在の市営住宅と民間のマンションの料金格差が大きいので、中間的な市営住宅が必要と思われます。

・市営住宅も大事だけど、マンション・アパートの家賃を少しでもいいので減らしてほしい。給料が低く、ストレスで病気がちなので生活が困難になってきている。

・収入に関わらず、持病や子供の人数により入居で出来るようにする等、基準を広げて良いと思います。少子化を１日も早く解消しないと税金をどんどん上げていけば大変な時代になります。中途半端な所得者が以外に大変で、共働きでは子供を産めない人達がたくさんいます。そういう人達でも入居出来るような基準も日本の未来の為に検討して欲しいです。

・世帯収入が基準額を上回っている場合でも、あまりきびしい取扱いをしないよう市として温かい手を差し伸べていただきたい。

・新しい市営住宅の建築を望みます。

・市営住宅があるだけで収入がなくなったら市営住宅を申し込んで、家賃の負担を軽くすれば良いかなという安心感はあります。立地の環境も良く、最後の砦みたいな存在になっています。

・いつ、誰が、どんな事情でそれまでの生活が一変するかは分からない。行政がセーフティネットを保証する必要はある。また、それを不正利用する人が出ないよう監視する機能も絶対的に必要でもある。

・何度か市営住宅に申し込んだ事がありますが、あまりに倍率が高く、この頃はあきらめています。もう少し希望者を受け入れていただきたい。

・生活保護の方は、医療費も負担がないので一般のギリギリの収入の方のほうが、大変かと。家賃等へ配慮が必要と思います。

・生活に困っている方々の家賃を減免することに異論はなく必要と考えます。賃料一般的共同住宅より低い額とし、少なからず生活に困っている方々の助けになれば良いと考えます。建物の創り、仕様と金額が妥当なものであれば問題ないと考えます。

・高齢化が進む日本、年金生活者が多くなり家賃もさることながら、雪問題、介護サービス料金など若い頃苦など感じなかった諸問題にぶつかることが多くなります。市営住宅はとても助かる人が多いと思います。今後とも安心と快適を感じる”すまい”を目指して欲しいと思います。

・既に市営住宅の整備や維持・管理に費用を投じているため更なる扶助は適切ではない。減免は住宅の制度ではなく、保護の方でまかなう。

・大型災害時における柔軟な対応についても検討願います(被災者用住宅)。

・私は社員として働いていますが、年収から家賃と交通費を引くと 150 万少々です。生活は貯金も出来ず大変です。生活保護の方や母子家庭の方々はもちろん守られ優先されるべきと思いますが、年収 200～300 万の人間も大変な思いをしています。一般の人が入居しやすい市営住宅が増えてくれればいいと思います。(1DK で 4 万以下くらいでも良いと思います)。両親は年金暮らしで市営住宅に住んでいますが、築 50 年以上でひどい状態のアパートです。高齢で引っ越しも大変であり、今後問題が増えそうだと悩みがつきません。

・生活保護生活でも公営住宅には中々入る事が出来ません。アパートでも毎月管理費を払わなければなりません（6,000 円）。公営住宅では家賃以外（公共料金別）入居前に修繕費（部屋、ストーブ）火災保険など契約時に支払わなければならない。
毎月の管理費もお願いしたいです。

・支払えなくなる方の状況によるし、生保の制度についてもよく知らないので何とも言えない。収入額だけの問題だけではないようにも思うし、制度を手厚くしすぎても”働けるのに働かない”という人が増えてしまっては困るので、支援は手厚いが、審査は正当に制度を作って欲しいと思う。病気などで、本当に困っている方が安心して住んでいられるようにして欲しい。

・維持費の負担は仕方ないと思います。

・まずは現状維持し、状況によって最悪の場合より良く救済する。

・中央区でも市営住宅を増やして欲しい。

・家賃が比較的安い事で助かっている方はたくさんいると思います。そんな中でも内装や外観を含め、最低限の定期的な改修工事は必要だと思います。

・住宅の老朽化が進んでいるように思います。

・所得の基準額ちょっと何１００円～何千円超えただけで基準額上回っているという判断は考えてもらいたいと思います。

・東京から引越して３年。現在義理の兄に借りています。最初の三年間は 30,000 円を払っていましたが、今年 5 月に主人が亡くなり、私一人国民年金とパート収入で暮らしていますが、いずれ出ていく時に市営住宅が頼りになると思います。考えなくてはと思っています。

・安心して住める住居は生活するうえで一番大切なものですから、市営住宅の果たす役割は大変大きいと思います。

・空き家が目立っていると聞きます。生活保護世帯以外でも高収入の人でも見合った家賃を取って入居してもらえば、市の収入にもなるわけですから、空き部屋はなくす方向でお願いします。

・自分も若くて収入が少ない時公営住宅（雇用促進住宅）にお世話になった。収入が少な

い人の助けになる制度として継続を願います。

・世帯収入が基準額を明らかに下回っている場合に減免制度適用が良いと考えます。

・健康な高齢者のグループワーク出来る市営住宅の検討をしても良いと思います。パートナーが亡くなった方の受皿として。

・生活環境について調査が必要だと思います（実態を知るため）。マイナンバーカードを必須として管理する方法が良いかと思います。

・ワーキングプアの方が救済される制度になって欲しいです。

・安易に越したことはないが、もう少し期間を置いた方が値上がりするものがすべて終了迄まって考えた方が良いと思う。良い方法には動かないと思う。全て高くなり過ぎ、電気などもっと高くなり、生活は苦しくなりそう。

・世帯の収入に応じて家賃が考慮されるのは良いですね。

・空部屋をなくすためにも必要だと考えています。

・市民のニーズを考慮したムダのない行政の執行が必須。(1)需要と供給のバランスの悪さが気になる。(2) 敷地の有効利用という観点が欠如している所があるように思える。

・以前応募を考えた時に、とにかく応募する手順、時間等大変で余裕がある人じゃないと難しいと思いました。子供の通学、自分の通勤や生活に不便な立地が多いですね。説明もわかりにくかった（ウェブ）。

・その昔、子育て時代、家賃（民間アパート）の負担が大きく、市営住宅に入れたらどんなにいいだろうと思っていました。今、子育て世代に対して、何かやっていらっしゃるのかよく分かりませんが、そんな世帯が優先的に入居できたらいいなあと思います。

・状況が変化されたら次に進む為に必要な住について市の福祉関係がもっとわかり易く表示されていたら良いと思う。単身、高齢になってくると市営住宅は助かると思うので、増してほしいと思うが。

・所得がそれなりにある人は、もっと高くした方が良い。困っている人には、安く提供した方が良い。

・家賃とは別の話になりますが、老朽化が進んでいる様に感じるので、建て替えを考えてもいいのではないかと思います。財政は心配ですが。

・市営住宅に住んでいても、状況によってそこに住めなくなる場合があると思うので、そういう場合でも柔軟に対応して欲しいです。

・家賃については札幌市独自の基準が必要（全国の賃金格差がある）。又、入居者については毎年１度は条件を満たしているか調査（机上だけではなく現調）が必要。虚偽申告はないと思うが、本当に必要な方々には柔軟な対応をお願いします。

・すばやく入居するようにしていただきたく思います。

・リーズナブルだが、倍率高く入居が大変そう。

・なかなか当選が厳しい話を聞くので、申込しないでいますが、正直生活はキツイです。

・生活保護の方よりもきちんと税や支払いをしてる方のほうがあきらかに生活はキビシイと思うので、見直しが必要だと思う。

・コロナも有り、今の時代、物価高、公共料金値上げ、所得の少ない人どころか職を失ってアルバイト生活の人もいます。家賃についてはもう少し安くしてもらいたいと思います。

・視覚障害で高齢です。国民年金のみの生活なので安い家賃は魅力ですが、立地条件も考えて欲しいです。

・足腰が悪い、老人にはバリアフリー、エレベーター、段差の無い部屋はほとんど無く、数が少なく、家賃も高く、交通が不便な場所が多い。住めない市営住宅が多く、住みたくても住めないし、情報も少ない。家賃も高い。

・市民が人間として、最低限の生活は保障して欲しい。

・単身向けに対してはとても良いと思います。現在私もそのような所にいるので、金額が違います。

・生活保護と市営住宅の両方は年金生活、高齢者として市民税を支払者として割り切れないものがあります。

・新しい市営住宅と旧市営住宅とでは家賃は収入によって同額なら同じですか？同じなら良くないし、場所の善し悪しも考慮すべき。新旧や立地で多少の差が有るのであれば良いと思う。

・世帯収入が基準額が上回っている場合、状況に応じては世帯内で病気や介護認定者が発生した場合減額または減免制度が受けられるにした方がよい。保護基準ではないが、低所得区分の方。

・入居条件を緩和して頂きたい。

・場所により、民間の部屋より明らかに格安、お得な設定の家賃は見直すべきかと思う。

・市住に入っていない人でも困っている人がたくさんいると思うので、市住入居者にのみ必要以上の優遇（家賃減免等）をする必要はない。

・状況により減額の場合、基準が不明確。生活が不安定な場合は別途給付金で対応。

・収入が上回っていてもローンや奨学金の支払いがあり、生活がギリギリの方もいると思うので状況に応じて減額または免除制度が受けられるようにした方が良い。

・世帯収入を厳格に調査すべき。

・算定方法を明確化すべき。

・世帯の状況・事情を色々調べた上で家賃減免はするべきだと思う。家賃自体については現状に沿った調査方法によって決定されているはずですから、特に異論はありません。

・5 年以内の建て直し計画予定を公にして欲しい。

・問い合わせ窓口の案内や、丁寧な対応など、職員の質や利用しやすい案内をすべきではないかな？

・制度を継続してください。又、部屋の稼働率を高く、無駄のないようにしてください。収入の少ない人がいたときに、入居できるストックもお願いします。

・収入が本当に少なくて困っている世帯に平等に市営住宅へ入居して欲しいと感じております。自分が母子家庭で育ち、かなり収入が無かったが、市営住宅に申し込みしても入居できないと母がぼやいていた記憶があります（当時住んでいたのは札幌市ではないです）。

・生活費を生活保護基準とせず、病気や災害など特別な事情がある場合、一定の期間考慮することが次に自立して生活するために大切のように思います。

・立地と家賃が見合っていない（優遇されている）。一等地の市営住宅に低い家賃？は不自然に思う。

・市営住宅の数を増やして欲しい。希望される人が入居できるくらい（条件設定難しいと思いますが）。

・家賃減免制度は必要だと思いますが、市営住宅の管理等の費用はこちらの税金の一部でまかなわれていることは事実なので、明らかに困窮していると見なされる人を対象にしてほしい。その方がこちらも税金を支払っている意義を感じられる。助けになっていると実感する。

・収入以外に貯蓄額や今後の年金額、借入等に応じて入居できるといい。特に私のような単身は今後に不安を感じるので制度を考えて欲しい。

・安くてうらやましいです。市営住宅に住んでる方のみの制度なら悪くても良いと思います。

・生活保護の価格を基準にする意味は何でしょうか？家賃は妥当です。本当に困窮している人が入居できる様になると良いですね。

・家賃を滞納する人をなくす様に仕事して欲しい。

・世帯収入が無い、あるいは明らかに少なく厳しい場合であって、転居をするのが困難（退居費用、荷作り、引越費用など）な状況において、助けがあってほしいと思う。貯蓄、他援助があるのにも関わらず、さらに制度対象となって恩恵を受けることができてしまうのは、不平等さを感じてしまう。自立しようと努力をまじめにしている人が損を見るような市ではあってほしくないです。

・未成年がいる世帯については、特にイメージ図の世帯収入が基準額を上回っている場合でも減額または減免制度が受けられるようにした方がよいでも状況に応じて減額、免除制度が受けられると良いと思います。

・誰でも安心できる住居は絶対に必要です。収入に応じて家賃を支払い、入居出来る公的な住宅の拡充を望みます。

・対応（対象）を広く持つ事で、利用者も納得してくれると考えます。

・物価が上がっているなかで、生活がたいへんになっている家庭が多くなって来ている状況の中で、それに応じた対応が出来るようになることが大変だと思いますが、重要なことであると感じます。

・本当に困っている人に向けて欲しい。

・1 人親家庭や失業者が優先で免除になる様になって欲しい。

・とても大切なセイフティ―ネットの一つだと思います。私自身、いつお世話になるかわかりません。

・市営住宅は所得の少ない方々に対しての住宅なので、敷金が２ヶ月分というのは入る方としてはかなり大変な金額になると思うので、その点を考慮してほしい。

・所得が少ない世帯には大変有難いですね。９年が経ったのなら家賃の見直しの時期だと思いますね。

・古い住宅の早急な建て直し。本当に必要な人が優先して入れる様しっかりした所得のチェック。

・単純に抽選はおかしいです。若くて共働きで自家用車を持てるような人は、入らなくてもいいのではありませんか。家賃減免制度も面倒なのか、知らない人もいます。エレベーターもなく、不便な（店も遠い）状況の人もいます。よく考えて欲しいです。

・単身高齢者向けの住宅を増やしてほしい。

・なるべく家賃安価で豊かに暮らしてほしい。

・以前抽選で市営に申し込んだ事がありましたが、はずれて今の集合住宅に居ます。市営の魅力は、家賃の安さだと思います。

・最低生活費より収入が下回ったら免除した方が良いと思います。

・困っている人が適正に使うことができたら良いと思います。

・札幌ではありませんが、身近に市営住宅に暮らしている人がいます。ギリギリで市営住

宅に入れたと言っていましたが、上手に節約しつつも楽しく暮らしていそうなので、今のままが良いのでは無いかと思います。

・減免制度があり助かっています！

・どこにどれだけ建てられていて入居率等、市内にずっと住んでいてもさほど知りません。抽選だというのは聞いた事がありますが、どの様に手続きを踏んで…など分かりません。生活弱者にもっと住みやすい、もっと利用しやすい宣伝やアナウンスなども必要かと思います。明日からの生活をどうしようという方々も今の時代いると思うので、迅速な対応も必要だと思います。減免や免除は良い制度だと思います。

・25 年住まわせて頂き、ありがたく思っています。今後も困った人々の助けになればと願っています。

・札幌市が生活苦の方々への支援を工夫し、思いやり、この精神を尊重します。

・建て替えを早く進めてほしい。

・就労状態などによるが、長期的に入居することの無いよう一定のラインを設ける必要があると思う。一般の住宅(賃貸や住宅ローン)より、格段に家賃が安いので家賃より、入居期限を作った方が良いと考える。

・住宅難民は低収入以外の理由もたくさんあり（高齢、保証人なし…)、困っている人を助けられる要素は維持、残してほしい。

・出来る限り家賃を下げて欲しい。また、市営住宅に限らず、一般賃貸住宅に関しても家賃補助について検討して欲しい。

・市営住宅は市民にとって必要なインフラであると思うので、ある程度の予算は必須だと考えます。

・市営、道営、UR の老朽化が地震に耐えられるのか心配です。計画的に建て直して若い世代の方が入居できたら良いと考えます。
・減免制度を受ける世帯は、玄関、階段、ゴミステーション等の清掃や草刈を義務化にするなどしたほうが良いと思います。

・車を持っていない人が優先的に地下鉄の側の市営住宅に入れるような仕組みがあれば良いのにと思います。お年寄りや子育て世帯等。

・一見基準額を超えた収入額であっても、子供さんの人数とかで生活の苦しさとか違ってくるので、その辺を考えて欲しい。

・子供のいる世帯にも減額をした方が良いと思う。

・家賃減免制度が必要だと思う理由は、従来より大幅に世帯収入が減少したことにより、生活水準を明らかに下げなければならなくなった場合には、家賃の減免措置は必要だと感じるからです。収入に応じた家賃を定めるべきだと思います。

・世帯収入が基準額を明らかに下回っている場合は第一優先すべき。今多様性が求められているため条件など見直し、本当に困って住む所がない方、日本人以外の人等も受け入れて欲しい。世界平和を祈り、札幌から発信できたらもっと幸せな市になる。

・人生には「いろいろある」。支払い困難にはいろいろな事情があると思われます。しかし、「税金」が使われている以上、一定の規定（生活保護基準）は必要と思われます。それから判断して世帯収入が基準額を上回っている場合、減額または免除制度を受けられるようにするのは適当ではないと思います。

・世帯収入が基準額を上回っている人は、市営住宅の入居を入居審査の時点で落としてほしい。本当に市営住宅でしか生活できない人に入居を提供してほしい。

・住民税非課税世帯が入居しやすいように、また、家賃も低くしてほしい。

・余り厚い福祉はどうなのかなとも思います。大原則は自分で生きることだと思います。低収入で頑張っている札幌市民も多くおります。

・自分は持家なので市営住宅はわからないが、本当に困ってる方々の生活の質にもっと重点を置いた方が良いと思う(備品の補助や子供教育の支援 etc)。

・申し込み 6 回目(6 年目)なかなか当選には至らないです。続けて申し込みしますが(退職して年金生活がたいへんです。現在の家賃の為、パートしていますが)。

・市営住宅の運営、優先度など知りたい。

・そもそも市営住宅のことをよく知らなかったから、知れてよかった。

・収入だけではなく、資産も含めて入居の可否や賃料を決めてもらえると良い。

・現状をよく理解していないが、市営住宅に入れるか入れないかや基準以下か以上かで、ギャップができなければいいと思います。あとは、頑張りたい人が頑張れるようにインセンティブが働く制度であってほしいです。収入が低い人を守るだけだと、やる気も起きないし、不満に思う人もいると思うので。

・市営住宅と通常の家賃の減免、両方を比べても、結果同じような生活の余裕となるような基準を設けるようにしてほしい。

・ゆくゆくは市営住宅を検討。年寄は買物、病院等に行くのに便の良い所じゃなければ生きていけません。街中に建てて欲しいです。

・家賃がどのくらいなのかわかりませんが、一般的な家賃よりも、明らかに安くないと意味がないと思います。

・年金の早期受給の金額は、とても低い上、仕事も無い場合も考えるとこの先、市営住宅にお世話になることになっても不安が消えません。

・空き部屋、滞納が無いよう有効利用していただきたい。

・世帯の収入の基準額だけでなく、支出面で子供の就学に必要な支出、医療費を考慮したら良いと思う。

・古いアパートやマンション等も市で管理等をし、困っている人や高齢者等に住宅を安い家賃で提供すると良いと思います。最近特に、ホームレスの人々が増えた様に感じます。

・失業し、一時的に生活が苦しくなった時期がありました。しかし、家賃の補助などの制度がわかりづらく何もできませんでした。HP 等でわかりやすくして欲しいと感じました。あと、復職後も苦しい生活ですが、減額や補助制度の条件にはまらず、もう少し誰でも幅広く受け入れてくれるようにしてくれればとても助かります。

・老朽化への対応に加え、バリアフリー住宅を拡充して頂きたいです。高齢者が増え、家賃問題だけでなく住環境の整備が必須と思います。

・家賃に限らず、都市ガスにするなど見直して欲しい。プロパンガスは高いです。

・５年または１０年以上住んでいる方々の家賃を少し下げる制度が有れば良い。

・子育て支援も必要かと思うが、大学生を持つ親への支援の方がもっと必要だと思う。

そういった家庭への配慮を考えて欲しい。

・滞納者の十分な理由の調査、相談を！

・物価に連動させる必要もあると考えます。

・基準額ラインは必要だとは思いますが、生活保護より少し収入が多くても世帯の人数や世帯員の年齢によっては出費がかさむ事もあると思うので、もっと総合的な判断も必要なのでは。

・普通に収入があって余裕がある人も住んでいると思うので、そこの家賃は考えた方がいいと思う。困っている人に住ませてもらいたい。

・収入に応じての家賃は良いのではないかなと思いますが、保護を受けていても中には受給資格が無い人が居ると言う事も聞いた事があります。調査はしっかりして欲しいと思います。不公平の無いようにお願いします。年金を受けていても、１３万弱の生活は厳しいです。

・市営住宅は果たして必要なのか？家賃補助制度の方が適正ではないか？市営住宅制度と家賃補助制度の公費負担額を比較的に検討して欲しい。

・この用紙の「市営住宅の家賃について」の所を読むと安いなあ～と感じました。一般の相場は高いですし、本当に生活が苦しい人達が入居出来ているのか家賃ばかりでなく別の角度から見直す事もして欲しいと思いました。

・我々の税金が捻出されているので、精査して正しく使われてほしい。

・申込から入居までの期間を短くし、手続の難しさや見通しが不明瞭であることにより、経済的苦境が深まることのないようにすべき。

・困っている人には入居できる手配を早く出来る様にしてあげて欲しい(そうなっていると思いますが)。人口 200 万の都市で 4 万人しか市営住宅がないのは少ないと思う。

・一時的な収入減等で減額は必要と思いますが、全額免除はやりすぎと思います。団地周辺の清掃等、管理が必要なことがあると思います。団地周辺の町内会とも円満に地域環境を過ごす為にも家賃収入があった方が良いと思います。

・賃貸住宅を選ぶ際に、公営住宅という考えがなかったので、公営の家賃の相場を知らな

い。今回アンケートの対象に選ばれたことにより、市の制度あると改めて覚えた。「〇十代住む所に困ったら」というような内容で、広報に読み物ものがあると良いと思った。（以前あったらごめんなさい。その頃の私には関心がありませんでした）

・北 24 条地下鉄団地等極めて利便性の良い住宅をそのまま立て替え高層化している市営住宅もあるが、こうした利便性の良い場所は他の活用方法を考え、市営住宅を他の場所に建て替えるべきかと思う。

・市営住宅自体を少し増やして欲しいです。

・市営住宅は身近ではない。もっと身近にチャンスが欲しい。住み替えを出来る環境が欲しい。

・収入があっても介護や高齢の親の入院費などの出費があって、困っている人の免除など対応が必要な時代かと思います。

・生活保護の最低生活費より少ない収入で生活している世帯はとても多いと思います。家賃は思いっ切り安い方が良いと思います。

・将来自分もお世話になる事があるかもしれないと考えますと人として最低限の生活であっても幸せを感じて生きていきたいと思いますので、世帯収入が基準を上回っても状況に応じてなのか、世帯の収入が基準額を下回っている方を減額または免除制度を受けられるようにした方が良いかどうか迷いました。

・長年続いた制度であり、現況の生活状態から根本的に見直してはどうか。世帯収入が基準額を下回っている場合以下は限りなく無償に近くて良いと思う。

・収入の割には物価が高くなっています。我々は年齢がいっていますが、これからどの様に暮らしていいかわからないこの頃です。

・入居されている方で、収入が増えても入居を続けている方や、家族構成が変わってもそのまま広い部屋に入居を続けている方がいるのは、不公平かと思います。

・市営住宅の家賃が安いのは、あまり知りませんでした。私共は年金生活で私の年金は年々少なくなっています。少ない貯金を下ろしながら生活しております。

・本当に困っている方々が入居できるようにして欲しいです。賃料の見直しは、もう少しコンスタントに見直すのも良いと思う（世帯給与の増減は日々更新されているので）。

・確定申告等の資料又は収支を指定のフォーマットへの記入を求め、減免額を決定することも検討する。災害対応住宅、身寄りのないご老人の保護も必要なのでコンパクトタウンとしての市住は必要だと思います。

・市営住宅の家賃設定は現状のままで良いと思います。

・市営住宅の空き家が多いイメージ。必要な部分だけを残し、後は土地をもっと有効活用すべき。住宅の維持費と住んでいる人の人数が合っていない。

・高齢になると中々民間のアパートやマンションに入ることが出来なくなることが多いし、やはり、家賃も高額になるので市営住宅が高齢者向けに広くなくても良いので、あるとありがたいし、料金も高齢者の年金対応した金額になると有難いですね。

・単身向けはもっと安くすべき。

・生活保護を受けないで、頑張っている人に温かい目を向けるべき。生活保護者は医療費がかからず、安心感があると思う。本当に生活保護の対象なのかきちんと収入源を調べる必要があると思う。

・最低限の生活水準維持の点から老朽化した建物の改修を計画的に進めていって欲しい。

・一般の賃貸住宅も築年数が経過している物件は家賃が安いので、市営住宅も築年数が経過している物件は家賃を下げて頂きたい。

・家賃については、交通便が良い所、広さ、新しさ等が基準で良い思う。年寄りが住めるようにエレベーターが必要と思う。

・若い頃から母子家庭の人が、状況が変わっていても市営住宅に入居されている。そんな事例もある中で、早急に 65 才以上の単身女性が、住居選択に関して悩まず不安なく入居できるよう、年金収入に応じた家賃を設計されるべき。今後の高齢者の住居対策を行うべきではないでしょうか？私も含め困っている氷魚が多くいます。実態調査を具体的に行って欲しい（対象をしぼって）。

・建て直しの時どうして場所（地下鉄徒歩圏内）の良い所に市営住宅があるのか？入居したい方、待っている方、多々なのに他の不動産に売り、もう少し離れた場所に（土地の安い所）立て直した方が入居数確保出来るのにといつも思います。

・本当に困っている方が救われ、公平な制度であって欲しいです。

・市の税金でまかなっているもの（市営住宅そのもの）なので、選出はしっかりして欲しい。

・市営住宅に入れる人は幸せだと思う。何度応募しても入れなかった。生活苦である。

・住んだ事がないのでイメージですが、家賃は安い方だと思いますが、冬が寒い北海道。築年数が長い分耐震、防寒が不十分で灯油等のランニングコストがかかり、結局一般の賃貸に住んでいるのと大差がないイメージがあります。

・収入が基準を下回っている方を基本にし、上回っていても特別な事情が起き、本当に困っている方に一時的に入居できるようにする制度があったら良いと思います。

・税金を使って住んでいる事を当たり前だと思わずに、大切にしてもらいたいと思う。収入が少ない方が安心して、安く住む事が出来るのは良いと思う。一生住む前提ではなく、ある程度収入が上がるまで、期間を決めて住まわせる必要もあるのではないか。市営住宅のある場所は治安が悪いと聞くが、家賃が安いのもあるのではないか。

・札幌市は民間賃貸住宅が供給過剰であるため、市営住宅を縮減し家賃補助や借り上げ方式とする事で民活を進めるべき。

※ 寄せられたご意見のうち、市営住宅の家賃等に関するもので、類似のご意見は統合した上で概要を掲載しています。

市営住宅に関するアンケート

1　世帯とお住まいについて

（1）あなたのお住まいの区について、当てはまる番号に１つ○をつけてください。

①　中央区	②　北区	③　東区	④　白石区	⑤　厚別区
⑥　豊平区	⑦　清田区	⑧　南区	⑨　西区	⑩　手稲区

（2）あなたの年齢について、当てはまる番号に１つ○をつけてください。

①　20 代	②　30 代	③　40 代	④　50 代
⑤　60 歳～64 歳	⑥　65 歳～74 歳	⑦　75 歳～79 歳	⑧　80 歳以上

（3）あなたの世帯人数（ご自身も含み、同居されている方の合計）について、当てはまる番号に１つ○をつけてください。

①　１人　②　２人　③　３人　④　４人　⑤　５人　⑥　６人以上

（4）あなたを含めた世帯全員の１か月の収入（手取り）のおおよその合計額について、当てはまる番号に１つ○をつけてください。

※収入とは給与、年金、自営・パート・アルバイト収入、仕送り、生活保護費、市からの手当などすべてです。

①　0～5,000 円	②　5,001～50,000 円	③　50,001～100,000 円
④　100,001～150,000 円	⑤　150,001～200,000 円	⑥　200,001～250,000 円
⑦　250,001～300,000 円	⑧　300,001～350,000 円	⑨　350,001 円～

（5）あなたがお住まいの住宅について、当てはまる番号に１つ○をつけてください。

①　持ち家（一戸建・マンション等）　②　公営住宅（市営・道営）
③　民間賃貸住宅（一戸建・集合住宅（マンション・アパート等）　④　社宅・寮・宿舎
⑤　その他（　　）

① の持ち家を選んだ方は（８）へお進みください。それ以外の方は（６）から順にお進みください。

（6）前問（5）で②～④、その他を選んだ、賃貸住宅などにお住まいの方におたずねします。毎月の家賃額について、当てはまる番号に１つ○をつけてください。

①　5,000 円以下	②　5,001～10,000 円	③　10,001～20,000 円
④　20,001～30,000 円	⑤　30,001～40,000 円	⑥　40,001～50,000 円
⑦　50,001～60,000 円	⑧　60,001～70,000 円	⑨　70,001 円以上

（7）質問の（5）で②～④、その他を選んだ、賃貸住宅などにお住まいの方におたずねします。現在の住環境（間取り、立地など）を考え合わせて、家賃額について、どのように感じていますか。当てはまる番号に１つ○をつけてください。

①　安い　②　やや安い　③　普通　④　やや高い　⑤　とても高い　⑥　わからない

（8）皆さまにおたずねします。現在の生活状況についてどのように感じていますか。当てはまる番号に１つ○をつけてください。

①　苦しい　②　やや苦しい　③　普通　④　やや余裕がある　⑤　余裕がある

2　市営住宅の家賃について

市営住宅は、札幌市が法律や条例等に基づいて住宅の確保にお困りの所得が少ない方々に対して、所得に応じた家賃で提供している住宅です。

（1）　札幌市の市営住宅では、世帯の収入が生活保護の基準を下回っている場合や、病気や災害など特別な事情がある場合で、家賃の支払いが困難になったときに、申請により家賃を一定の期間、減額または免除する家賃減免という制度があります。

他の政令指定都市においても、生活保護基準を参考に家賃減免の基準を設けている都市が多いですが、独自の基準を設けている都市や、家賃減免制度がない都市もあります。

あなたはこの制度について必要だと思いますか？当てはまる番号に１つ〇をつけてください。

①　必要だと思う　　②　不要だと思う　　③　わからない

①の「必要だと思う」を選んだ方は（2）へお進みください。

（2）前問（1）で「①必要だと思う」を選んだ方におたずねします。家賃減免制度について札幌市では、減額または免除が受けられる世帯収入の基準額を、生活保護制度の最低生活費をもとに定めていますが、この制度についてあなたの考えにもっとも近いものはどれですか。

イメージ図をご覧いただき、当てはまる番号に１つ〇をつけてください。

①　世帯の収入が基準額を上回っていても、状況に応じて減額または免除制度が受けられるようにした方がよい。

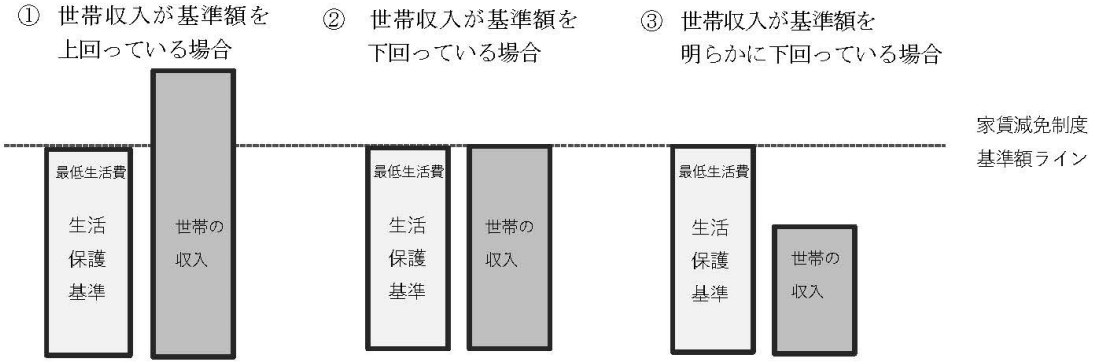
②　世帯の収入が基準額を下回っている方を、減額または免除の対象とすることでよい。

③　世帯の収入が基準額より明らかに少ない方だけが、減額または免除制度を受けられるようにした方がよい。

④　別の方法を考えた方がよいと思う。

⑤　わからない

【生活保護費と世帯の収入の関係（イメージ図）】



（3）前問(2)で「④別の方法を考えた方がよいと思う」を選んだ方で、考えられることがありましたらお書きください。

（4）市営住宅の家賃などについて、ご意見等ございましたらお書きください。